令和４年度

事 業 報 告 書
及び
事業報告の附属明細書

社会福祉法人　掛川市社会福祉協議会

目　　次

【事業報告書】
１　令和４年度の施策体系　・・・・・　１
２　総括　・・・・・　３
３　施策別説明　・・・・・　３
４　特記事項　・・・・・　８
５　詳細資料　・・・・・１０

施策１　安心して暮らせるまちづくり
１　安心につながる相談支援事業　・・・・・１０
２　人権を守る権利擁護事業　・・・・・１４
３　生活を守る在宅サービスの充実　・・・・・１６
４　安心を支える災害時対応支援事業　・・・・・１７

施策２　ともに支えるまちづくり
１　居場所とつながりをつくる当事者活動支援事業　・・・・・２０
２　高齢者の社会参加を支援する事業　・・・・・３０
３　子どもの成長と子育てを支援する事業　・・・・・３５

施策３　市民参加のまちづくり
１　市民を育てるボランティア活動推進事業　・・・・・３９
２　地域を育てる地域活動支援事業　・・・・・４１
３　福祉を伝える啓発・情報提供活動　・・・・・５１
４　福祉の心を育てる福祉教育活動　・・・・・５３

施策４　福祉基盤を強化する体制・組織づくり
１　福祉を進める体制を強化する事業　・・・・・５８
２　社会福祉協議会の運営と組織強化　・・・・・６１
３　共同募金運動の推進　・・・・・６５

【事業報告の附属明細書】　・・・・・６９

1　令和４年度の施策体系

1　基本目標　：　みんなの幸せをつなぐ福祉のまちづくり

2　施策体系　：

施策1　　安心して暮らせるまちづくり

1　安心につながる相談支援事業

1）各種相談事業の実施

2　人権を守る権利擁護事業

1）権利擁護体制の充実

3　生活を守る在宅サービス事業

1）生活支援サービスの充実

2）外出支援の充実

4　安心を支える災害時対応支援事業

1）緊急時・災害時支援体制の確立

施策2　　ともに支えるまちづくり

1　居場所とつながりをつくる当事者活動支援事業

1）当事者組織の活動支援

2）ひきこもり者支援事業

3）障害児（者）との交流事業

2　高齢者の社会参加を支援する事業

1）高齢者の社会参加促進

2）生きがい活動支援

3　子どもの成長と子育てを支援する事業

1）子ども支援活動

2）子育て支援活動

施策3　　市民参加のまちづくり

1　市民を育てるボランティア活動推進事業

1）ボランティアの開拓・養成

2）ボランティア活動支援

3）多様な担い手との連携

２ 地域を育てる地域活動支援事業

1）地区福祉協議会のネットワーク強化

2）地区福祉協議会活動の充実

3）地域福祉活動支援の充実

３ 福祉を伝える啓発・情報提供活動

1）ふれあい交流活動

2）市民啓発活動

3）情報提供活動

４ 福祉の心を育てる福祉教育活動

1）学校発の福祉教育の充実

2）地域ぐるみの学びの場づくり

施策４　福祉基盤を強化する体制・組織づくり

１ 福祉を進める体制を強化する事業

1）地域包括ケアシステムの充実

2）福祉関係機関との連携強化

3）地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進

２ 社会福祉協議会の運営と組織強化

1）社会福祉協議会の運営

2）社会福祉協議会の組織強化

３ 共同募金運動の推進

1）共同募金活動への協力

2）共同募金助成事業の実施

3）歳末たすけあい助成事業の実施

2　総括

令和４年度は長引くコロナ禍の中、急速な物価高騰の影響など、社会に大きな制約が伸し掛かっている状況であった。社協においても、各種福祉活動の制限や、事業、会議等の中止・縮小など、年間を通じて活動の停滞を招いた。また新型コロナウイルスに関連した国の特例貸付制度は終了したものの、生活困窮者が抱える様々な課題は終息が見通せず、社協のあらゆる事業において深刻な状況が続いている。

令和４年度は「第四次地域福祉計画・地域福祉活動計画（スマイルプランかけがわ 21)」(以下「第四次スマイルプラン」）の 2 年目であったが、前年度同様地域活動が大きな制約を受け、計画推進にも影響を及ぼした。

この様な中にあっても、地域福祉を推進する団体である社協は、地域包括ケアの推進を図るため、ふくしあの機能強化を重点課題としながら、限られた条件の下、各ふくしあに配置された生活支援コーディネーター(CSW 兼務)を中心に、地域の支えあい活動を継続して推進支援してきた。

社協全体として、各事業が連動する個別支援・地域支援・組織支援からなる「重層的支援体制」の構築を目指し、新たな事業展開を模索した一年であった。

3　施策別説明

（　　）内のページは、詳細資料の該当ページを示しています。

施策１　安心して暮らせるまちづくり

１　安心につながる相談支援事業（10～14 ページ)

相談事業は、令和 2 年 3 月に開始した国による「コロナ特例貸付」事業が今年度上半期 9 月末をもって終了し、貸付件数は大幅に減少したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により収入が減少した生活困窮者からの相談は途切れることはなかった。貸付終了とともに償還免除・償還猶予への対応が開始しているが、新型コロナ関連の特例制度を活用しても、なお困窮から脱却できない生活困窮者や住まいを追われる等の緊迫した課題が顕在化した。この解決のため、多職種連携により自立再建に向けた一人ひとりに寄り添った支援をおこなった。

２　人権を守る権利擁護事業（14～16 ページ)

権利擁護の 1 つである日常生活自立支援事業では、31 人の契約者に対して支援を行い、3，000 件を超える相談と、約 1,000 件の支援をおこなった。コロナ禍の影響もあり、訪問回数の制限等もあったが、利用者の生活を守るサービスとして中止することなく支援をおこなった。

成年後見事業においては、令和 4 年 6 月より法人後見受任を開始し、現在 3 件受任中である。東遠地域中核機関に参画し、毎月受任調整や 2 次スクリーニングをおこなっている。令和 5 年度は、第 4 期市民後見人養成講座を開催し、市民へ参加を

呼び掛けていく。

3　生活を守る在宅サービスの充実（16～17 ページ）

障がい福祉サービスにおいては、身体、知的、児童、精神の居宅介護、ガイドヘルパーによる視覚障がい者を支援する同行援護を実施した。ガイドヘルパーにおいては、市内で運営している事業所が当会のみであり、ニーズに対応するための人材確保が課題となっている。

外出支援活動では、車いす及び福祉車両（車いす対応車輌）の貸出件数が、車いす 686 件、福祉車両 541 件となった。生活に必要な支援であるため、コロナ禍でも停止することなく貸出をおこなっており、両事業とも前年度並みの件数となっている。

4　安心を支える災害時対応支援事業（17～20 ページ）

9 月 23 日未明に発生した台風 15 号により、掛川市内でも家屋浸水や土砂災害等の被害が発生した。災害ボランティアとして対応したケースは 2 件であったが、初めて実災害への対応をおこない、社協としての災害時対応をさらに改善させることができた出来事であった。災害ボランティアセンター立ち上げ訓練や災害ボランティア養成講座は、実経験を踏まえ、具体的な活動と運営の実践をおこなった。

災害時支援では、同台風被害により被災した磐田市、静岡市へ県の協定に基づき職員を両市社協へ派遣し、被災地支援をおこなった。

また、災害時の協力体制確保のためライオンズクラブ（掛川・大東・大須賀）と災害時協定を締結し、資器材の確保のため、赤い羽根共同募金を活用し、市内の特別養護老人ホーム等に防災倉庫（3 箇所）を設置した。

施策２　ともに支えるまちづくり

1　居場所とつながりをつくる当事者活動支援事業（20～30 ページ）

在宅介護者支援事業はコロナ禍で制約はあったものの、予定された年間事業はほぼ実施することができた。認知症家族介護者交流事業「笑顔のつどい」や認知症カフェも年間を通じて実施できた。認知症カフェでは参加者の拡大を図るため、出前会場での開催もおこなった。

ひきこもり者支援事業は、掛川市の設置する「掛川市ひきこもり対策協議会」の「指定支援機関」として事業に取り組んだ。個別の相談支援を始め、啓発講演会、当事者家族の学習会やおしゃべりサロン、当事者の居場所支援など活動は充実してきている。また、新規に受託した常設居場所「Ｍｙラボ」は、回を重ねるごとに利用者が拡大し、当事者が安心して来られる「居場所」として機能している。

休日に外出することの少ない知的障がい者や精神障がい者が、ボランティアとともに、社会体験活動をおこない、会食やレクリエーションを通じて交流を図る場と

しての青年学級の「この指とまれ」・「四つ葉の会」は、コロナ禍で内容に制約は受けたが、中止することなく年間通じて開催することができた。

2　高齢者の社会参加を支援する事業（30～35 ページ）

高齢者の孤立防止と生きがいづくりとして、地区福祉協議会等が主催する「高齢者ふれあいいきいきサロン」「複合サロン」は 81 会場で実施されたが、コロナ禍による活動制限は多くのサロンで報告された。社協ではコロナ禍でもできるサロン活動や代替活動を提案し活動支援を行った。

シニアクラブ支援においては、連合会と掛川支部の事務局を担うとともに、掛川市やシニアクラブとともにシニアクラブ活性化の在り方を協議した。

生きがいデイサービス事業ではコロナ禍により年間を通じて午前のみのプログラムとなったが、年間を通じて開催することができた。あわせて、より地域に密着した介護予防支援を展開するために、掛川市と事業の枠組みを協議し、新たに「笑顔と生きがいづくり支援事業」を展開してきた。

3　子どもの成長と子育てを支援する事業（35～39 ページ）

障がいを持った子どもの発達を促すため、「Ｍｙラボ」を会場として「おもちゃ図書館」を毎月 1 回、第 3 日曜日に開催した。人数制限等の制約は設けたが、年間を通じて開催することができた。

子の発達に不安を抱く保護者の相談の場所である「おやこたけのこ教室」も年間計画通り実施することができた。

放課後等デイサービス事業は、「はるかぜ」「みなみかぜ」の 2 施設体制で運営した。特別支援学校等でも、コロナ感染の発生による学級閉鎖や学年閉鎖等が発生し、学校にあわせての放デイ運営となったが、支援員の努力により、大きな感染が発生することなく運営することができた。放デイでは利用児拡大の課題があり、「はるかぜ」においてケアスペース拡充のため、社会福祉充実計画を活用し、園庭に屋根を設置し全天候型のケアスペースの増設をおこなった。

子育て支援では、放課後児童健全育成事業（学童保育所）について、12 箇所の運営をおこなった。コロナウイルス感染の拡大に伴い、学童保育所運営においても難しい判断をしながらの施設運営となったが、支援員の感染対策の徹底により、運営を続けることができた。また、利用希望者の拡大により、西山口小学童と千浜小学童で保育施設の拡充がおこなわれたが、さらなるニーズ増加に対して、安全な運営を目指すため、教育政策課と継続的に協議している。地域で行われる子育てサロン・サークルの支援においても、コロナウイルスの影響による制限の中、可能な情報提供や活動支援をおこなった。

施策３　市民参加のまちづくり

１　市民を育てるボランティア活動推進事業（40～41 ページ）

令和４年度のボランティア養成講座は、ひきこもり支援をテーマに実施し、受講者から数名が今年度開設した「Ｍｙラボ」のボランティアとして活動を開始した。

ボランティア連絡協議会の活動は、コロナ禍のため制約を受けながらも、年間を通じて可能な範囲で活動を実践した。

企業の社会貢献として、寄付活動やフードドライブ事業に取り組んでいる企業と連携して、生活支援事業を展開することができた。

２　地域を育てる地域活動支援事業（41～52 ページ）

地域活動の支援は、地域福祉実践者で構成する「地区福祉協議会連絡会」を中心として、地域福祉実践地区のネットワーク化や、地域主体の地域福祉実践体制の整備を図っている。

市社協は事務局を担い、役員会、代表者会、エリア別代表者会を実施し、情報交換や課題検討をおこなった。さらに市内 35 地区の地区福祉協議会などの地域福祉推進組織に対し個別に活動支援を行い、住民主体の地域福祉活動の活性化、安定化に努めてきた。財政支援においても、地区福祉協議会助成事業とともに、特別助成事業を行い、31 地区で 91 事業に活用された。コロナ禍で活動が制限される中でも、地域課題に添った活動への検討や実践が取り組まれる中で、地域の福祉力が高まりつつある。

地域の中で見守りを高め、身近な支えあい体制を再構築していくための「小地域福祉ネットワーク活動」の推進支援では、普及のための学習活動は、ふくしあ単位であるエリア別研修会と先進地視察研修は Zoom を活用して実施した。

本所やふくしあにおいてレクリエーション用具等の貸出をおこなう「福祉お助け用品貸出事業」の実績は 624 件と前年から若干増加した。

３　福祉を伝える啓発・情報提供活動（52～54 ページ）

「ふれあい広場」は開催時間やプログラムに制限を設けたが、3 年ぶりに開催でき、ボランティア団体から喜びの声が寄せられた。

社会福祉大会は 2 年ぶりに開催した。開催時間や参加者に制限を設けたが、福祉の分野で貢献した方への祝福やねぎらいにあふれた大会となった。

情報提供事業では、社協だよりを中心に情報提供活動に努めた。ホームページを始め、フェイスブックやインスタグラムの活用など、社協事業のＰＲを積極的におこなった。

４　福祉の心を育てる福祉教育活動（54～58 ページ）

学校発の福祉教育への支援として、福祉教育実践校に小学校 22 校、中学校 9 校、高等学校 4 校、計 35 校全校を指定し、各学校における教育目標に沿った実践活動

の展開を支援した。また、実践校間で情報交換や課題検討をするための実践校連絡会は、感染予防のため Zoom を活用して 2 回開催した。連絡会では、学校の活動を支援している障がいを持つ方（協力ゲスト）も参加し、福祉教育担当教員との関係を作りながら意見交換をおこなうことで、相互理解を深めていった。

地域ぐるみの学びの場づくりとして、昨年度はコロナ禍により実施できなかった地域出前講座は、５地区で合計６回開催することができた。あわせて、全域の住民を対象とした市民地域福祉セミナーを Zoom により開催した。

施策４　福祉基盤を強化する体制・組織づくり

１　福祉を進める体制を強化する事業（58～61 ページ）

関係機関との連携では、地域包括支援センターとの連携を図るため、地域ケア会議及び包括相談協力員懇話会へ参加した。

社会福祉法人の社会貢献活動については、市内に本部や施設のある社会福祉法人と「掛川市社会福祉法人等社会貢献研究会」を設置し活動している。令和元年度から取り組んでいる「福祉なんでも相談」は、29 の施設とふくしあや社協との連携により継続実施している。令和４年度に社協と社会福祉法人が協働して行う社会貢献活動として「フードパントリー事業」を呼び掛け、賛同いただいた社会福祉法人と令和５年度実施に向けて現在企画を練っている。

令和４年度２年目となる第四次スマイルプランは、コロナ禍により地域活動に制約がある中、可能な範囲で地域住民とロードマップ作成作業をおこなった。

２　社会福祉協議会の運営と組織強化（61～65 ページ）

組織強化の為の役職員研修会は、３年ぶりに開催し、ひきこもり者支援について学んだ。また、職員研修は、厚生労働省のモデル事業を活用し、職員の継続的育成体制構築の基盤づくりをおこなった。

職員のケース対応力強化のため行っているＣＳＷ研修会は Zoom を活用し、定期的に実施した。

令和４年度の重点取り組み事項の一つであるＩＣＴの活用では、組織内情報共有システム「サイボウズオフィス」を導入し、社協内の情報伝達、情報共有はもとより、職員のスケジュール管理、会議室や福祉車両の貸し出し管理を一元化することができ、業務の効率化が図られた。

社協運営の根本である自主財源の強化では、一般会費の納入率は、令和元年度 71.0%、令和 2 年度 69.88%、令和 3 年度 69.3%と毎年高い納入率を得られている。今年度もコロナ禍で経済が不安定な状況であるが、68.4%と例年並みの納入を得られた。あらためて市民の理解とともに、区長会の御協力に感謝の意を表するものである。

施設・団体会費も 26 件 175,000 円と前年並みの実績となった。施設連携を強化

し、社協理解を広めることで協力施設を増やしていく。

賛助会費については、企業・団体・個人から、合わせて 808 件、2,062,230 円となった。前年度比では 107 件減、111,495 円減であった。あらためて社協事業の活性化と社協 PR 活動等の取り組みを強化し、社協への理解と支援を深めるため努力していく。

3　共同募金運動の推進（66～68 ページ）

共同募金（一般募金）は、11,267,506 円（目標額の 100.6%）、歳末たすけあい募金は 7,931,542 円（目標額の 99.1%）であった。コロナ禍でいまだに各種イベント・行事に制約があり、あわせて経済状態が長期にわたり不安定な状況の中で、おおむね目標額を達成することができたことは、貴重な浄財を提供いただいた方や熱心に募金活動に取り組んでいただいたボランティアの力であり感謝の意を表する。

共同募金の助成金によって、地域福祉推進のために 11 事業 8,722,241 円（共同募金災害等準備金、参加者負担金等を含めた総事業費は 12,533,719 円）を活用することができた。また「赤い羽根地域福祉促進助成事業」は、地域に対し 4 件、243,000 円を助成した。前年度と比較し件数も助成額も減少しているので、本事業が更に活用されるよう今後も普及啓発活動に力を入れていく。

また、歳末募金では、経済的理由で生活支援が必要な 149 世帯、263 人の方に見舞金として 3,807,000 円を贈呈した。併せて、地域でおこなう高齢者や障がい者などの年越しの事業に対して 75 事業、1,560,900 円を配分するなど、希望する個人、団体に助成することができた。あらためて、御協力いただいたすべての方に感謝申し上げるとともに、共同募金活動の活性化と貴重な浄財の有効活用については、静岡県共同募金会と連携を密にして、引き続き推進していく。

4　特記事項

４年度特徴的な事業に対して、具体的な成果等を示す。

施策 NO.	事業名	内容・成果等
施策１－２	法人後見事業の実施	法人後見として、後見 1 件、保佐 2 件、合計 3 件を受任し、年間 273 回支援をおこなった。
施策１－２	中核機関への協力・参画	東遠 3 市の中核機関に参画し、市内 52 件のケース検討を行うとともに、権利擁護の相談窓口をはじめとした成年後見制度推進をおこなった。

施策２－１	ひきこもり者支援事業の実施	事業開始９年目となり、学習会やサロンも安定した運営ができるようになり、個別の相談対応も増えてきた。また、受託事業として常設型居場所「Ｍｙラボ」を開設し、ひきこもり者の社会参加のステップの場として登録者も増加している。
施策２－２	生きがいデイサービス事業の充実	生きがいデイサービス事業は午前プログラムとし、午後の時間を使い、介護予防活動の普及や新年度事業に向けての準備を行った。
施策２－３	学童保育所運営方針の検討	増える利用ニーズに対応するため、西山口小学童及び千浜小学童の居室を増築した。また、運営方針の検討として教育政策課と継続的に協議を続けた。
施策２－３	放課後等デイサービス事業の安定運営	社会福祉充実計画を使い、「はるかぜ」の園庭を全天候型のケアスペースとして改修し、ケアの充実を図った。
施策４－１	「ふくしあ」に第２層生活支援コーディネーター(SC)の配置	ふくしあ CSW の兼務による第２層 SC により、コロナ禍における地域の支え合い活動推進のための支援や学習活動を実施した。また、地域包括支援センター認知症推進員と協働した「認知症カフェ」も会場を増やし実施した。
施策４－１	社会福祉法人による社会貢献活動の実施	「法人貢献研究会」の活動を中心として、「福祉何でも相談」を継続実施するとともに、フードパントリー事業他、社会福祉法人と連係した事業の構築を企画した。
施策４－１	第四次スマイルプランかけがわ 21 の推進	第四次計画の２年目となり、コロナ禍ではあるが、可能な範囲で計画やロードマップの普及及び推進活動をおこなった。
施策４－２	グループウェア及びＩＣＴの導入	サイボウズオフィスを導入し、組織内の情報伝達及び共有と、職員のスケジュール及び会議室や福祉車両の貸し出し管理を一元化した。

5　詳細資料

施策１　安心して暮らせるまちづくり

１　安心につながる相談支援事業

＜１＞　各種相談支援事業の実施

（１）　福祉総合相談の実施(月～金)

複雑化する住民の生活課題を解決するため、広く地域住民の相談に応じ、適切な助言を行うことを目的に総合的な相談を実施した。

開 設 日　　毎週月曜日～金曜日　　9：00～17：00

開設場所　　社会福祉協議会本所　　各ふくしあ　各出先機関

相談件数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R4	501	520	628	588	671	598	640	637	588	719	620	600	7,310
R3	468	453	598	525	514	561	541	561	463	444	392	526	6,046
R2	614	558	585	644	549	529	607	448	476	459	506	613	6,588
元	640	500	522	587	508	424	510	459	504	359	501	425	5,939
30	464	534	541	458	413	441	533	552	466	459	506	476	5,843

フード・日用品支援件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	30	27	25	33	22	38	37	65	45	50	40	40	452

（２）　心配ごと相談の実施

相談日数　：50 日

※　新型コロナウイルス緊急事態宣言およびまん延防止措置発令中の相談日は中止とした。
（本所会場第 1.3.5 金曜日　大東会場第 2 金曜日　大須賀会場第 4 金曜日）

相談件数　：43 件

相談件数と相談内容

内　容	本　所	大東会場	大須賀会場	内　容	本　所	大東会場	大須賀会場
生計	1	3	0	財産	0	0	5
金銭	0	2	1	事故	0	0	0
職業・生業	1	0	0	相隣関係	2	2	2
家族	5	0	4	児童	0	0	0
結婚	1	0	0	老人	1	0	0
離婚	1	2	0	苦情	4	0	0
医療	0	0	0	その他	0	2	1
遺産・相続	1	0	2	合計	17	11	15

（３）　結婚相談の実施(第 1.3 日曜日)

※　新型コロナウイルス緊急事態宣言およびまん延防止措置発令中の相談日は中止とした。

開 設 場 所　　掛川市総合福祉センター（あいり～な）東館 1 階

見合い件数　　160 件（令和 5 年 3 月末現在）

結婚成立件数　　9件　男性　5人　女性4人
登 録 者 数　　86名　男性 60人 女性26人　　（令和5年3月末現在）

相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	22	16	23	17	16	16	14	24	13	7	19	18	205

（4）　ボランティア相談の実施(月～金)

総合福祉センター内ボランティアセンター、東部ふくしあ、中部ふくしあ、西部ふくしあ、南部大東ふくしあ、南部大須賀ふくしあの 6 箇所にて、相談者に対するボランティアコーディネートを実施した。

相談件数（6箇所合算件数）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	10	20	14	18	13	11	8	19	5	12	11	16	157

（5）　善意銀行貸付事業の実施

生活困窮世帯に対し、緊急かつ一時的に必要とする資金を無利息で貸し付け、適切な指導を行い自立更生を支援した。コロナの特例貸付の申請相談増のため、専任の担当を配属し、自宅訪問を行い現状確認の上、生活指導、自立支援の強化を図る予定であったが、次年度に繋ぐ形となった。貸付申出者に安易に貸し付けをせず、必要最小限の貸し付けで分割交付を原則とし、生活困窮者自立支援事業担当者と連携を組むことで償還が確実に行われるようになった。

貸付限度額　1世帯30,000円まで

貸付・償還実績

年　度	貸付件数	貸付金額	償還件数	償還金額
令和4年度	37件	974,000円	87件	613,200円
令和3年度	13件	304,388円	52件	310,918円
令和2年度	29件	710,898円	101件	696,368円
元年度	19件	438,999円	97件	480,074円
平成30年度	22件	350,636円	124件	508,343円

（6）　生活福祉資金の貸付(臨時特例つなぎ資金を含む)事業の実施

他制度からの借り入れが困難な低所得世帯や障がいのある方、65歳以上の高齢者のいる世帯に、民生委員児童委員の生活援助指導のもとに低金利で資金を貸し付けることにより、世帯の経済的自立を支援した。（実施主体　静岡県社会福祉協議会）

令和4年度も昨年に引き続きコロナの影響で申請と相談が多く、対応に苦慮。

償還については、コロナの影響でおこなわれなかった。

生活福祉資金貸付実績（内訳）

資金種類		貸付用途	貸付件数
総合支援資金	生活支援費	生活再建までの間に必要な生活費用（含・延長）	17
	住宅入居費	住宅手当申請の方で敷金、礼金等賃貸契約に必要な費用	0
	一時生活再建費	就業のための支度費、技能習得費、低家賃の賃貸住宅へ転宅するための費用、家具什器費、滞納の公共料金等の支払い、債務整理に必要な経費など	0

福祉資金	福祉費	日常生活を送る上で、又は自立した生活を確保していくために、一時的に必要であると見込まれる費用	0
	緊急小口資金	緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に貸し付ける小額の費用	39
教育支援資金	教育支援費	高校、大学又は専門学校に就学するに必要な費用	0
	就学支援費	高校、大学又は専門学校への入学に際し必要な経費	0
臨時特例つなぎ資金		失業等で住居を失った方に、公的な貸付や給付が受けられるまでの必要な生活費用	0
不動産担保型生活資金		住宅に住み続けることを希望する高齢者へ不動産を担保として生活資金の貸し付けを行う	0
		合　計　件　数	56

※令和３年度貸付実績　　312　件

生活福祉資金貸付相談対応実績（件）

区　分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電話	15	27	19	16	15	10	3	4	8	7	3	3	130
来所	9	2	11	3	12	3	0	0	4	4	8	3	59
郵便	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	5
合計	24	31	31	19	27	13	5	4	12	11	11	6	194

（７）　生活困窮者自立相談支援事業（H26.7月開始）

生活困窮者の総合的問題（経済的困窮・社会的困窮など）に対して広く相談対応をし、家計の収支全体の改善を図り、個別的・包括的・継続的に支援を行い自立へと繋げた。また、課題解決をする際に、本人を取り巻く地域の力を強化し地域づくりを行い社会資源の開発を図った。

生活困窮者自立相談対応実績（内訳）

内　　容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合・貸付相談件数【世帯】	32	40	41	39	37	36	44	42	39	50	48	51	499
新規困窮相談件数【世帯】	5	6	4	6	1	1	4	4	1	3	1	4	40
相談受付(同意件数)【世帯】	1	4	2	3	0	1	0	4	1	1	1	3	21
調整会議(プラン作成)【世帯】	0	2	1	1	1	1	0	2	1	1	4	2	16
ﾌﾟﾗﾝ作成(同意件数)【世帯】	0	2	1	1	1	1	0	2	1	1	4	2	16

支援終了【世帯】	1	0	2	1	2	0	2	1	1	11	5	8	34
支援回数(就労相談)【世帯】	10	19	16	11	15	11	28	25	91	33	13	8	280

困窮支援回数【回】		177	238	238	235	213	174	218	195	230	236	173	205	2532
支援内訳	電話相談・連絡【回】	86	98	61	105	77	61	87	68	50	66	45	43	847
	訪問・同行支援【回】	12	23	13	12	11	7	8	15	24	10	14	14	163
	面談【回】	20	27	25	25	24	27	32	32	25	32	23	36	328
	会議【回】	21	21	26	23	28	26	30	31	1	33	32	24	296
	他機関電話協議【回】	38	69	112	70	72	52	60	48	124	85	48	77	855
	その他【回】	0	0	1	0	1	1	1	1	6	10	11	11	43

（8） 生活困窮者家計相談支援事業（H27.4月開始）

生活困窮者の家計問題に対して広く相談対応をし家計の収支全体の改善を図り、個別的・包括的・継続的に支援を行い自立へと繋げた。

生活困窮者家計相談対応実績（内訳）

内　容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合・貸付相談件数【世帯】		6	8	5	3	4	4	4	3	3	3	2	2	47
新規困窮相談件数【人】		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
相談受付（同意件数）【人】		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調整会議（ﾌﾟﾗﾝ作成）【人】		0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	3
ﾌﾟﾗﾝ作成(同意件数)【人】		0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	3
支援終了【人】		0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
支援回数(家計相談)【回】		42	67	84	20	24	54	41	14	15	15	8	23	407
支援内訳	電話相談・連絡【回】	17	34	15	15	13	21	22	4	5	7	1	8	162
	訪問・同行支援【回】	9	17	8	0	0	5	1	0	3	0	3	2	48
	面談【回】	4	6	9	2	4	5	4	5	3	4	2	2	50

	会議【回】	4	4	4	2	3	3	2	2	0	2	2	1	29
	他機関電話協議【回】	8	6	48	1	4	19	12	3	4	2	0	10	117
	その他【回】	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

（9） 福祉なんでも相談（施設連携）

② 福祉なんでも相談の実施

社会福祉法人の社会貢献活動の一環として29施設が無料の相談窓口を実施した。

相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数	2	1	3	1	2	0	6	2	3	1	1	2	24

2 人権を守る権利擁護事業

＜1＞ 権利擁護体制の充実

（1） 日常生活自立支援事業の実施(受託)

認知症や障がい等のために、福祉サービスの利用や日常的金銭管理ができにくい人を支援する事業として県の事業である日常生活自立支援事業を受託して取り組んだ。

相談件数

(1) 認知症高齢者に関すること	195
(2) 知的障がい者に関すること	470
(3) 精神障がい者に関すること	1350
(4) その他	710
合　　計	2725

契約件数（3月末契約利用者数）（単位：人）

区　分	契約利用者数	区　分	契約利用者数
認知症高齢者	3	精神障がい者	13
知的障がい者	7	そ　の　他	8
合　計	31		

新規契約件数　　1件（認知0件、知的0件、精神0件、その他1件）
契約終了件数　　5件（認知1件、知的1件、精神1件、その他2件）
（契約終了の内、成年後見制度への移行はその他1件）

支援回数（単位：回）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R4年度	53	51	45	50	51	52	48	48	48	49	47	52	594
R3年度	56	53	54	51	53	52	52	52	50	50	48	53	624
R2年度	55	49	49	46	48	49	54	53	56	52	55	53	619
元年度	73	68	67	70	68	65	72	63	68	59	57	56	786
30年度	77	87	84	79	83	75	83	83	76	77	75	74	953

（2） 成年後見制度の普及・促進

成年後見制度が必要とされる方の相談を受け、必要に応じて、申立て支援や専門機関へのつなぎを行った。

相談件数　　48 件　　成年後見移行件数　　1 件

（3） 法人後見事業の実施

成年後見制度による法定後見人を法人として受任し、身上保護、財産管理事務をおこなった。

受任件数（3 月末状況）（単位：人）

類　型	後見	保佐	補助
人　数	1	2	0
合　　計	3		

活動件数（単位：回）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
R4 年度	―	―	26	21	31	26	26	25	26	48	21	23	273

※6 月から 1 件目を受任した為、4，5 月は実績なし

（4） 市民後見人養成講座の開催

平成 30 年度 11 月「市民後見人養成推進委員会」を立ち上げた後、第 1 期生が「市民後見人養成講座」を受講して以降、現在第 3 期受講生の修了選考まで実施した。

3 市社会福祉協議会にて実務経験を行った講座修了生は、推進委員会による市民後見人候補者名簿登録の選考を経て、市民後見人としの活動を行うことができるようになる。現在掛川市は名簿登録者 2 名（1 期生 1 名、3 期生 1 名）。

養成講座は 1 期菊川市（平成 30 年度実施済）、2 期御前崎市（令和元年度～実施済）、3 期掛川市（令和 2 年度実施済）、4 期掛川市（令和 5 年度実施予定）。

（5） 東遠地域中核機関への参画

東遠地域中核機関に菊川市、御前崎市と共に参画し、成年後見を含む権利擁護の相談窓口を始めとした、成年後見制度推進を行った。

① 事例検討会(基本毎月最終水曜に開催) 候補者調整、2 次スクリーニングを実施

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
ケース数	7	7	10	11	11	11	11	14	15	17	18	18	150
内、市内	3	3	3	3	3	3	4	4	5	7	7	7	52

② 東遠地域成年後見制度利用促進委員会

令和 4 年 5 月 25 日　第 3 期市民後見人推薦名簿登録審査（掛川 1 名）
市民後見人報酬助成について
事例検討会ケース経過について　等

令和 5 年 1 月 25 日　第 2 期及び第 3 期市民後見人推薦名簿登録審査（御前崎 2 名）、
市民後見人養成講座修了生フォローアップ研修会について
令和 5 年度市民後見人養成講座開催について、等

③ 家庭裁判所との情報交換会（3 市行政・3 市社協）　2 回実施

（6） 福祉サービス等における苦情の受付・対応

福祉サービスにおける苦情受付の担当者を設置し、対応した。

① 苦情受付件数　0件

（内訳）職員の対応等に対して　0件

福祉サービスの提供に対して 0件

② 苦情解決第三者委員の調整を必要とした苦情　0件

3 生活を守る在宅サービスの充実

＜1＞ 生活支援サービスの充実

（1） 障がい福祉サービス事業の実施 （居宅介護：身体、知的、児童、精神、同行）

障害者総合支援法に基づく自立支援事業所として、身体、知的、精神障がい者及び児童のお宅に伺い、入浴、排せつ、食事等の介護を行った。同行援護については視覚障がい者に対し、外出支援を行った。

事業状況

	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
身体	利用者数	15	15	15	14	16	15	15	15	16	16	15	17	184
	訪問回数	118	117	134	115	134	128	118	126	135	119	111	139	1494
知的	利用者数	7	6	7	7	6	7	7	6	7	7	6	7	80
	訪問回数	33	23	33	32	35	36	36	34	36	32	33	39	402
児童	利用者数	1	1	1	1	1	3	3	3	3	3	3	3	26
	訪問回数	1	2	2	1	2	8	16	16	14	15	13	16	106
精神	利用者数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	38
	訪問回数	17	18	14	16	18	15	16	17	16	13	19	21	200
同行	利用者数	16	19	20	18	18	19	20	18	16	19	17	19	219
	訪問回数	50	62	65	64	51	58	72	59	67	60	58	84	750

東遠地域自立支援協議会居宅訪問部会

令和4年度は1回開催された。

（2） 移動支援事業の実施(受託)

全身性障がい者、知的障がい者、障がい児及び精神障がい者に対して外出時の移動の支援を行い、地域における自立生活及び社会参加を促進し、福祉の増進につなげた。

事業状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	6	7	7	4	2	2	4	5	5	5	5	6	58
回　数	22	14	18	4	2	2	7	11	9	8	12	11	120

（3） 難病患者訪問介護事業の実施(受託)

令和4年度は利用者なし。

＜２＞　外出支援の充実

（１）　車いす貸出事業の実施

介護保険に該当しない高齢者や怪我・障がい等で一時的に車いすを必要とする方に車いすの貸し出しを行った。ふくしあ（西部、東部、中部、南部大東、南部大須賀）でも貸し出しを行っており、利用者の利便を図っている。

貸し出し利用件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本　所	19	27	33	28	27	27	39	29	18	14	36	28	325
東　部	2	2	0	1	1	1	4	3	2	0	0	0	16
中　部	6	4	5	5	5	4	4	2	3	3	2	4	47
西　部	4	7	2	2	4	2	4	6	2	5	5	3	46
大　東	12	13	12	17	17	13	11	19	12	16	14	5	161
大須賀	8	7	15	14	9	5	5	9	8	2	5	4	91
合　計	51	60	67	67	63	52	67	68	45	40	62	44	686

（２）　福祉車両貸出事業の実施

既存の交通機関を利用することが困難な障がい者や高齢者の車いす利用者の社会参加を支援するため、福祉車両（車いす用リフト付き車輌）の貸し出しを行った。

（保有数）本　所　３台　　西部ふくしあ　１台　　中部ふくしあ　　１台
大東ふくしあ　２台　大須賀ふくしあ １台

貸し出し利用件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本　所	15	26	18	19	12	19	16	12	15	15	15	13	195
中　部	5	7	3	5	6	6	5	7	7	7	5	6	69
西　部	1	5	3	3	5	6	5	2	1	8	5	5	49
大　東	13	15	14	11	12	14	10	15	7	12	16	22	161
大須賀	10	8	3	6	2	5	4	5	6	5	2	11	67
合　計	44	61	41	44	37	50	40	41	36	47	43	57	541

４　安心を支える災害時対応支援事業

＜１＞　緊急時・災害時支援体制の確立

（１）　災害ボランティアセンター設置運営マニュアルの検証と体制整備

「災害 VC 掛川」及び行政と連携し、防災訓練とあわせて災害ボランティアセンター設置訓練を実施し、運営マニュアルの検証を行うとともに、体制の整備を図る。また、防災担当者を係ごとに配置し、社協防災担当者会議を開き、災害時対応及び防災訓練について協議した。

（災害ボランティアセンター設置訓練）
「掛川市災害ボランティアセンター立ち上げ訓練」
日　時　令和４年９月４日（日）８：45～12：15
会　場　掛川市生涯学習センター
参加者　57 人（掛川市長、社協会長、社協副会長１人、ライオンズクラブ５人、

災害 VC 掛川７人、職員 35 人、実習生２人）
内　容　災害ボランティアセンター立ち上げ、運営訓練、グループワーク

「ICT を活用した災害ボランティアセンター運営訓練」
日　時　令和４年 12 月 17 日（土）13：30～15：40
会　場　大東市民交流センター　フリースペース、会議室
参加者　42 人（県社協１人、ライオンズクラブ５人、災害 VC 掛川４人、
　　災害ボランティア養成講座受講者１人、職員 31 人）
内　容　講義、ICT(kintone)を利用した災害ボランティアセンター運営訓練

(社協防災委員会)
日　時　令和４年８月 17 日(水)
参加者　防災委員　10 人
内　容　災害時対応（ICT 導入）に関する協議

(他市町社協災害ボランティアセンター立上げ訓練視察)
日　時　令和４年９月４日（日）13:30～16:00
会　場　菊川市総合保健福祉センター　プラザけやき
参加者　防災委員　10 人
内　容　災害ボランティアセンター立ち上げ訓練、講義（床下浸水等について）

（２）　災害ボランティアグループとの連携

ボランティア団体「災害 VC 掛川」の定例会に出席し、日頃から情報交換に努めた。
次の定例会に出席

令和４年　４月　15 日　(金)
令和４年　５月　20 日　(金)
令和４年　７月　15 日　(金)
令和４年　８月　19 日　(金)
令和４年　10 月　21 日　(金)
令和４年　11 月　18 日　(金)
令和４年　12 月　16 日　(金)
令和５年　２月　17 日　(金)

（３）　災害ボランティア講座の実施

近年、各地で多発する風水害や地震災害時には災害ボランティア活動が大きな力を発揮する。静岡県内で発災した際に備え、日頃より災害時のボランティア活動や被災者の状況を理解し備えておくことが大切となる。本講座は災害ボランティアの役割や、現場でおこる様々な課題を理解し、災害ボランティアに関する基本的な知識を身に着け、円滑に活動を行うことができる人材の養成を目的に実施した。

日　時　令和４年 12 月 17 日（土）10:00～12:00
会　場　大東市民交流センター
講座名　「災害ボランティア養成講座」
講　師　(一社)ピースボート災害支援センター１人
内　容　講話「災害ボランティア入門」
参加者　受講者６人、講師１人、職員５人　計 11 人

（４）　令和４年度台風第 15 号による被害対応

令和４年９月 23 日（金）夕方から 24 日（土）明け方にかけて発生した台風第 15 号により、家屋浸水や土砂災害等の被害が発生。掛川市内では特に被害の激しかったお宅で災害ボランティア活動を実施した。

（災害ボランティア活動）

件　　数：2 件

活動期間：令和４年９月 28 日（水）～12 月 23 日（金）

ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ：延べ 107 人

市社協職員：延べ 51 人

内　　容：泥の掻き出し、家財運搬、災害ゴミ搬出、床下清掃・消毒等

（静岡県共同募金会による支援）

静岡県共同募金会災害支援制度により、令和４年台風 15 号災害に伴う災害ボランティアセンターの設置・運営に係る支援資金が支給された。

支給金額：394,646 円

使　　途：災害ボランティア活動に係る資機材購入経費、車輌費等

（５）　災害時協定に基づく被災地への職員派遣

令和４年台風第 15 号による豪雨災害において、県内各地で災害ボランティアセンター等が設置され、当会から応援職員を派遣した。

（磐田市災害ボランティアセンター応援派遣）

日　時：令和４年９月 28 日(水)～10 月 15 日(木)まで

派遣日数：15 日

派遣人数：９人

（静岡市清水区災害ボランティアセンター）
日　時：令和 4 年 11 月 4 日（金）～11 月 30 日（水）
派遣日数：20 日
派遣人数：10 人

（6）　災害時協定の締結

災害時応急対応活動として行う、センターの設置及びそれに伴うボランティア活動を円滑に実施するために、災害協定を締結した。

① 締結先：掛川ライオンズクラブ、大東ライオンズクラブ、大須賀ライオンズクラブ
日　時：令和 4 年 6 月 28 日（火）　協定締結式実施

② 締結先：掛川青年会議所
日　時：令和 4 年 7 月 19 日（火）　協定締結式実施

（7）　防災倉庫の整備

静岡県共同募金会“赤い羽根”災害ボランティア活動用機器整備事業により、防災倉庫及び災害ボランティア活動用機器を整備した。
設置場所：社会福祉法人大善福祉会　特別養護老人ホーム　掛川福祉ノ郷　敷地内
協 力 者：
社会福祉法人大善福祉会　特別養護老人ホーム　掛川福祉ノ郷
西郷地区長間区
第五地区民生委員児童委員協議会
災害ボランティアコーディネーター掛川（災害 VC 掛川）

施策２　ともに支えるまちづくり

1　居場所とつながりをつくる当事者活動支援事業

＜1＞　当事者組織の活動支援

（1）　在宅介護者支援事業の実施(受託)（笑顔と生きがいづくり支援事業）

①　介護教室の実施

日　時　令和 5 年 1 月 27 日(金)13:30～15:00
場　所　総合福祉センター　教養会議室
内　容　家庭での救急法
講　師　NPO 法人 f.a.n.地域医療を育む会
参加者　17 人（内　在宅介護者の会会員 7 人）

②　リフレッシュ旅行の実施

在宅介護者が、介護から一時的に開放され、心身のリフレッシュをすることを目的に実施した。

日　時　令和 4 年 11 月 18 日(金)10:30～16:45
場　所　春林院、加茂荘花鳥園
参加者　19 人（内　在宅介護家族の会会員 10 人）

③笑顔のつどい

毎月 1 回 2 会場にて、物忘れが気になる家族を介護している方を対象に、お互いの悩みの相談、情報交換をする交流会を開催し、精神的負担の軽減を図った。また、地域包括支援センターや長寿推進課との連携のもと、介護に役立つ情報提供やサービス利用を促した。

(ｱ)北部会場(総合福祉センター)年間実績

開催日	内　　容	参加人数
4月22日	おしゃべりサロン	11（2）
5月27日	おしゃべりサロン	7（1）
6月24日	健康講話　㈱雪印ビーンスターク 「心身ともに健康であるために」　フリートーク	17（7）
7月29日	おしゃべりサロン	9（2）
8月26日	ヨガ（講師：越水律子氏）　フリートーク	10（3）
9月30日	おしゃべりサロン	13（2）
10月28日	おしゃべりサロン	14（1）
11月25日	おしゃべりサロン	8（1）
12月23日	おしゃべりサロン	8（1）
1月27日	介護教室と合同実施　救急法　f.a.n　地域医療を育む会	20（3）
2月17日	ボディトーク	10（5）
3月24日	おしゃべりサロン	10（1）
合　　計		137（29）

※（　）…参加者のうち講師、ボランティア、市職員、包括職員、など

(ｲ)南部会場（偶数月：大須賀市民交流センター・奇数月：大東市民交流センター）年間実績

開催日	内　　容	参加人数
4月15日	おしゃべりサロン	2（1）
5月13日	おしゃべりサロン	6（2）
6月3日	おしゃべりサロン	6（1）
7月1日	おしゃべりサロン	3（1）
8月5日	リフレッシュヨガ教室　講師　山田氏	4（2）
9月2日	おしゃべりサロン	7（1）
10月7日	おしゃべりサロン	7（2）
11月4日	おしゃべりサロン	7（1）
12月2日	おしゃべりサロン	6（1）
1月6日	おしゃべりサロン	7（1）

2月3日	おしゃべりサロン、工作	7（1）
3月10日	おしゃべりサロン	2（0）
合　　計		64（14）

※（　）…講師、ボランティア、市職員、包括職員など

④認知症カフェ（茶のみやカフェ）

毎月1回2会場にて、認知症の方や介護されているご家族及び関心のある方を対象に、認知症カフェを開催し、認知症になっても気軽に参加できる交流の場を作った。また、専門職による相談、介護に役立つ情報提供やサービスを提案した。

今年度については蓮福寺や家代の里などを会場にした地域に出張するカフェを北部で3回、南部で3回実施した。

(ｱ)城下店（掛川中央図書館）年間実績

開催日	内　　容	参加人数
4月12日	おしゃべりサロン	11（2）
5月10日	おしゃべりサロン	19（5）
6月14日	おでかけカフェ in 蓮福寺	21（5）
7月4日	おでかけカフェ in 家代	10（4）
8月9日	おしゃべりサロン、体操	10（4）
9月13日	おしゃべりサロン	10（4）
10月18日	おしゃべりサロン、掲示物作成	27（6）
11月7日	おでかけカフェ in 家代	14（3）
12月14日	クリスマス会	13（5）
1月17日	おしゃべりサロン	15（2）
2月14日	おしゃべりサロン	24（2）
3月14日	おしゃべりサロン	25（3）
合　　計		199（45）

※（　）…講師、ボランティア、市職員、包括職員など

(ｲ)大東なかよし店（大東図書館）年間実績

開催日	内　　容	参加人数

4月27日	おしゃべりサロン	8（1）
5月25日	おしゃべりサロン	11（1）
6月22日	おしゃべりサロン	9（1）
7月27日	おしゃべりサロン	12（2）
8月 24日	おしゃべりサロン	15（4）
9月 28日	おでかけカフェ in 清水邸庭園	9（2）
10月26日	おしゃべりサロン、レクリエーション	22（3）
11月30日	おしゃべりサロン、図書館作業手伝い	10（0）
12月15日	おでかけカフェ in 蓮舟寺	24（2）
12月21日	クリスマス会	15（2）
1月25日	おしゃべりサロン、アンケート	6（1）
2月22日	おしゃべりサロン	9（1）
3月22日	おでかけカフェ in 永福寺	31（1）
合　　計		181（21）

※（　）…講師、ボランティア、市職員、包括職員など

(ｳ)認知症カフェの増設のための調整

新規の固定カフェや出前カフェの増設に向け、市、包括（認知症推進委員）等の関係機関と社協内部（SC、生きデイ担当）の連携を密にし、調整会議を行った。

（2）在宅介護者の会の支援

① 施設見学

日　時　令和4年9月16日（金）
見学先　ねむの木美術館、吉行淳之介文学館
参加者　在宅介護家族の会会員9人

② 介護者交流会

日　時　令和5年3月3日（金）
場　所　総合福祉センター
参加者　在宅介護家族の会会員8人
内　容　演奏会鑑賞　他

＜2＞　ひきこもり支援事業

平成26年度より、ひきこもり当事者やご家族の支援を目的としたひきこもり者支援事業をスタートさせた。当事者や家族の声を聞き、その声に寄り添いながら支援を展開した。

（1）　ひきこもり者相談・家族支援

①　学習会サロン

ひきこもり当事者のご家族を対象にNPO法人サンフォレスト代表 三森重則氏をアドバイザーとして迎え、学習会サロンを年5回開催した。

＜学習内容＞

月　　日	内容
4月　17日	ひきこもり？「ひきこもりからの立ち直り」って何　～解決へのステップ～
6月　26日	ひきこもりからの回復のステップ（2)「受容　」と「対話」
8月　21日	当事者からのお話
12月　 4日	ひきこもり家族教室 ワークショップ
2月　26日	家族が元気に当事者と関わる（ひきこもりの回復は親子関係の改善から） 親子の会話回復(関係改善)ステップ

② おしゃべり会

ひきこもり当事者のご家族を対象に、参加者同士が近況を確認し、悩みを共有する場として年6回開催した。当事者家族ならではの悩みを話すことで、精神的支えに繋がっている。

また、随時講演会などの情報提供を行っている。9 月には参加者の多くが親亡き後を心配する声が多いため、ファイナンシャルプランナーによる講話を実施した。

開催日時　13:30～15:30
5月14日、7月9日、9月24日、11月19日、1月21日、3月18日

③ グループカウンセリング

アドバイザーのNPO法人サンフォレスト 代表 三森重則氏の協力のもと、学習会サロン・おしゃべり会の参加者を対象に年1回開催。一人20～30分を目安に参加者の状況とアドバイスを聞くことで、お互いの対応について参考にできる場として、平成27年度から開催している。

開催日　令和3年10月23日（日）　午前の部（8世帯）／ 9時00分～11時15分
午後の部（4世帯）／13時30分～16時15分

＜R4年度　年間活動事業実績について＞
家族活動実績表

事業名/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
学習会サロン	8		4		8				7		11		38
おしゃべり会		5		6		8		10		12		8	49
ｸﾞﾙｰﾌﾟｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ							15						15

※家族を対象とした学習会サロン（5回）とおしゃべり会（6回）は、隔月交互に実施

④ 個別相談

社協本所または市内5ヶ所の「ふくしあ」（地域健康医療支援センター）において随時対応した。

ご家族のみの面談、ご家族と当事者、当事者のみなど必要に応じて対応している。
面談会場は相談者の希望により決定している。必要に応じて、各ふくしあの行政保健師の同席も行っている。

＜相談受付箇所＞

相談先	電話番号	住所
社協 本所	0537-22-1294	掛川市掛川910-1
東部ふくしあ	0537-23-4720	掛川市薗ケ谷881-1
中部ふくしあ	0537-28-8546	掛川市杉谷南1-1-30
西部ふくしあ	0537-29-6192	掛川市下垂木1270-2
大東ふくしあ	0537-71-1135	掛川市三俣620
大須賀ふくしあ	0537-48-5531	掛川市西大渕100

＜R4 年度相談実績＞

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
本人	9	9	10	6	5	8	10	9	7	11	9	12	105
家族	9	4	10	8	11	9	10	8	12	7	9	7	104
専門職（関係機関）	11	4	8	9	13	4	18	7	9	10	11	4	108
合　　計	29	17	28	23	29	21	38	24	28	28	29	23	317

2 月末までの実人数：本人／12 人　家族／23 人　専門職（関係機関）／15 機関

（2）　ひきこもり者居場所支援

①　常設型ひきこもり居場所　「Ｍｙラボ」

義務教育後の学校や家庭以外の居場所として、月～金　午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分まで実施。生きづらさを感じている方や居場所がない方、話をしたい方などが自分の思う過ごし方ができる居場所とする。

月曜日　どなたでも
火曜日　なでしこ会（女性限定）
水曜日　どなたでも
木曜日　ふらっと（発達障がいの相談など　登録制）
金曜日　どなたでも

ア　利用者状況

	開催日数	延べ利用者数	内訳		実人数	内訳		見学者
			当事者	家族		当事者	家族	
4 月 ※4/7～	16	10	7	3	7	5	2	東遠学園、四役会
5 月	19	16	14	2	6	5	1	ｻﾝﾌｫﾚｽﾄ、学習会参加者、市議会員、近隣住民
6 月	22	27	25	2	11	9	2	掛川地域おこし協力隊、静岡県中西部発達支援センターCOCO、のびるーむ、当事者
7 月	20	53	49	4	14	11	3	磐田市社協
8 月	22	59	53	6	16	12	4	ふくしあセンター長 2 人、住民 5 人、実習生 3 人、各市町社協 13 人、市 1 人
9 月	20	50	45	5	13	9	4	住民 2 人、ボラ希望 1 人
10 月	20	60	52	8	17	12	5	社会福祉実習生、中部ふくしあ
11 月	20	59	52	7	16	13	3	ボラ養成講座（Ｍｙラボ体験）6 人
12 月	20	88	78	10	20	14	6	ボラ養成講座（Ｍｙラボ体験）6 人 SSW、放デイポノ、当事者家族

1月	20	67	59	8	20	15	5	ボランティア7人 Mネット、保健師
2月	19	70	68	2	18	17	1	静岡県中西部発達支援センターCOCO２人
3月	22	86	76	10	24	19	5	ボランティア9人、福祉課2人
合計	240	645	578	67				

※利用実人数33人

イ　１日平均当事者利用数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0.4	0.7	1.1	2.4	2.4	2.2	2.6	2.6	3.9	2.9	3.5	3.4

※4月は開設4/7～で計算

ウ　年代別当事者数

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	不明
当事者年代	4人	11人	3人	9人	2人	1人	3人

※実人数33人　不明はおおよそ30～40代と思われる

エ　曜日別参加者数(当事者)

	月	火	水	木	金
4月	0	0	5	2	0
5月	0	0	8	2	4
6月	0	0	13	7	5
7月	8	0	14	13	14
8月	8	2	19	10	14
9月	4	4	11	16	10
10月	9	5	16	13	9
11月	10	5	15	9	13
12月	14	7	25	16	16
1月	6	5	19	10	19
2月	16	8	26	9	9
3月	8	4	37	10	17
延べ当事者参加者数	83人	40人	208人	117人	130人

オ　利用者の様子　※特にメニューなし

・自分の作りたい作品を毎回少しずつ作成。・職員や参加者との雑談。・アイロンビーズ、折り紙。・漫画を読む、カードゲーム。・ウノ、人生ゲーム。・野菜の水かけ、収穫し食事。・今後についての相談

カ　多機関との連携

・コア会議を開催　月1回、相談案件がなければ中止。
実績／6/ 6(月)　　参加機関／福祉課、のびる～む、Mネット東遠、東遠学園、

若者サポートステーション
7/14（木）　参加機関／福祉課、M ネット東遠、東遠学園
8/25（木）　参加機関／福祉課、東遠学園、若者サポートステーション

キ　ステップアップ事例

【20 代男性】：社協にて定期面談→　My ラボ参加（1／W）→　My ラボ参加日を増やす→
若者サポートステーションと面談→　職場見学→　職場体験中

ク　　ひきこもりケース会議

・R4 年 4 月 21 日（木）　会場　　中部ふくしあ
参加機関　東遠地区生活支援センター、中部ふくしあ行政・社協、社協本所
・R4 年 12 月 28 日（水）　会場　　社協　教養会議室
参加機関　東遠地区生活支援センター、M ネット東遠、のびる～む、社協

（3）　ひきこもり対策協議会へ指定支援機関としての参画

掛川市もひきこもり者支援活動を本格的に開始し、令和 2 年 12 月 25 日（金）に「掛川市ひきこもり対策協議会」が設置された。当会はこれまでの実績が評価され「指定支援機関」の位置づけで協議会に参画している。

今年度はひきこもり UX 会議、掛川市主催の講演会を実務者会議として位置づけている。

実務者会議	令和 4 年　5 月 18 日（水）10:30～	掛川市役所
	令和 4 年 11 月 25 日（金）15:00～	掛川市役所
ひきこもり講演会	令和 4 年　9 月 10 日（土）13:30～	掛川市生涯学習センター
	令和 4 年 12 月 14 日（水）13:30～	掛川市生涯学習センター
実務者会議・代表者会議	令和 5 年　2 月 15 日（水）14:00～	掛川市役所

（4）　ひきこもりに関する普及啓発・情報発信

①　ひきこもり者支援啓発講演会

市民に対するひきこもり者への理解を啓発することにより、地域で暮らす当事者家族が安心して暮らせることを目的とし開催している。

今年度はひきこもり UX 会議、掛川市が主催する講演会（計 2 回）の協力を行った。

②　「かけがわ　ほっとほっとＭＡＰ」（ひきこもり者支援マップ）作成

近隣の機関･団体等社会資源の情報を整理し、当事者･家族への情報提供と共に、関係機関団体における支援ネットワークを強化することを目的として平成 27 年度作成。平成 28 年度から、市内における不登校・ひきこもりの深化を防ぐため、義務教育が終了する市内全中学 3 年生に卒業式直前に配布している。今年度は内容を改訂の上、増刷配布し

た。

＜３＞　障害児（者）との交流活動

（１）　青年学級の実施（障がい者サロン　２会場・毎月）

心身に障がいを持つ青年層が休日の余暇を充実させる目的に仲間との出会いの場として学級を２会場で開催した。運営はボランティアスタッフの協力を得て行った。

①　この指とまれ（掛川区域）

会場：掛川市総合福祉センター　教養会議室他

内容

開催日	プ　ロ　グ　ラ　ム	講師・ゲスト	参加人数
4月　10日	顔合わせ／7月10月の計画を立てよう	―	24
5月　8日	ボッチャ	―	33
6月　12日	ミニ運動会	―	37
7月　10日	ゲーム	―	36
8月　14日	工作（うちわ作り）	―	33
9月　11日	ボウリング	―	24
10月　16日	※ふれあい広場実施のため定例会は中止	―	―
11月　13日	体操（一本歯下駄）	松浦　直希	35
12月　11日	クリスマス会	―	30
1月　15日	レクリエーション	―	25
2月　12日	掛川工業高校ギター部との交流	掛川工業高校ギター部	51
3月　12日	ウォーキング	―	24
合　　計			352

②　四つ葉の会（大東・大須賀区域）

会場：大東市民交流センター・大須賀市民交流センター他

内容

開催日	プ　ロ　グ　ラ　ム	講師・ゲスト	参加人数
4月　10日	はじめましての会＆レクリエーション	－	34
5月　15日	ウォーキング	－	33
6月　12日	ミニ運動会	－	32
7月　10日	ダンス	唐澤 剛史 氏	42
8月　21日	ヨガ	山田 祥子 氏	15
9月　11日	ちぎり絵	－	34
10月　　日	※ふれあい広場開催の為、なし	－	－
11月　13日	グラウンドゴルフ	－	31

12月　11日	クリスマス会	進士 光 氏	41
1月　15日	ボウリング	－	25
2月　12日	太極拳	松本 千賀子 氏	32
3月　12日	3B体操	飯田 英子 氏	33
合　　計			352

（2）ほっとほっとサロン実施(精神障がい者余暇活動支援、北・南2会場、毎月各1回)

仕事や作業所等が休日となる土曜日を利用して、精神障がい者の余暇活動支援事業を開催。社会参加と自立を促す活動となっている。仲間とのコミュニケーションを楽しみながら、ほっとした一時を過ごす余暇活動の居場所として、北会場・南会場で実施した。

参加者：当事者・市民・ボランティア・民生委員など

協　力：NPO法人ジョイントサークル「かたくり」

時　間：9：30～12：00

北会場：掛川市つくし会館

開催日	内　　容	参加人数
4月　23日	おしゃべり、レクリエーション　※弁当持ち帰り	23
5月　28日	おしゃべり、レクリエーション　※弁当持ち帰り	23
6月　11日	おしゃべり、レクリエーション　※弁当持ち帰り	25
7月　2日	おしゃべり、レクリエーション　※弁当持ち帰り	24
8月　6日	おしゃべり、レクリエーション　※弁当持ち帰り	22
9月　3日	おしゃべり、レクリエーション　※弁当持ち帰り	22
10月　1日	おしゃべり、レクリエーション　※弁当持ち帰り	19
11月　12日	おしゃべり、レクリエーション　※弁当持ち帰り	20
12月　10日	おしゃべり、レクリエーション　※弁当持ち帰り	21
1月　14日	おしゃべり、レクリエーション　※弁当持ち帰り	24
2月　4日	おしゃべり、レクリエーション　※弁当持ち帰り	20
3月　11日	おしゃべり、レクリエーション　※弁当持ち帰り	22
合　　計		265

南会場：大須賀中央公民館

開催日	内　　容	参加人数
4月　9日	おしゃべり　※弁当持ち帰り	9
5月　14日	おしゃべり　※弁当持ち帰り	6
6月　11日	おしゃべり　※弁当持ち帰り	7
7月　9日	おしゃべり　大型ジェンガ　※弁当持ち帰り	7
8月　6日	おしゃべり　スカットボール　※弁当持ち帰り	7
9月　10日	おしゃべり　スカットボール　※弁当持ち帰り	7

10 月　22 日	ちっちゃな文化展見学　※弁当持ち帰り	10
11 月　12 日	おしゃべり ※弁当持ち帰り	9
12 月　10 日	おしゃべり　体操　※弁当持ち帰り	7
1 月　14 日	※体調不良者多数の為中止	―
2 月　11 日	おしゃべり　※弁当持ち帰り	5
3 月　11 日	おしゃべり　スカットボール　※弁当持ち帰り	9
合　　計		83

２　高齢者の社会参加を支援する事業

＜１＞　高齢者の社会参加促進

（１）　高齢者ふれあい・いきいきサロンの普及・推進支援（「笑顔」対象事業）

○高齢者サロンの立ち上げ、運営の支援
○各地区で取り組まれる高齢者サロンの実施支援
※取り組み状況（定期的開催：年 10 回以上）
高齢者サロン数　　65 会場（令和 4 年 4 月調査）
複合サロン数（対象が広範囲）16 会場（　　〃　　）
サロンへは、特別助成金事業で活動費の助成をして支援している。

（２）　サロンボランティア情報交換会の実施（「笑顔」対象事業）

①　大東エリアサロン情報交換会
日　時　令和 4 年 6 月 27 日(月)19:00～21:00
会　場　大東市民交流センター　会議室
参加者　30 人
内　容　サロン活動について
サロンでも使える体操・レクリエーション
グループワーク意見交換

（３）　高齢者の生きがい活動拠点事業の実施(受託)（22 世紀の丘公園コミュニティセンター）

掛川市 22 世紀の丘公園コミュニティセンター「たまりーな」を活動拠点として、高齢者の生きがいづくり事業の推進を図った。

たまり～な利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	54	59	69	70	57	54	61	56	69	61	63	59	732
人数	648	903	969	826	600	574	708	627	1147	768	856	736	9362

高齢者の教室・自主クラブ

クラブ	カラオケ	ダンス	銭太鼓	絵手紙	淡墨の会	水墨画	写真	太極拳
開催回数	93	43	22	46	20	23	12	24
参加人数	795	554	89	525	195	195	92	142
クラブ	ﾀﾞﾝｽｺｽﾓｽ	ウクレレ	ｴｱﾛﾋﾞｸｽ	布ぞうり	オカリナ	折り紙	生き活き	なつかしの歌を唄う会
開催回数	24	24	24	12	24	24	24	0
参加人数	198	234	713	76	167	139	478	0
クラブ	手芸	ﾊｰﾓﾆｶ	舞踊	ﾊﾟｿｺﾝ	ﾃﾞｨｽｺﾝ	書道	ﾎﾞﾃﾞｨｺﾝ	将棋
開催回数	12	24	1	21	1	24	12	22
参加人数	75	264	3	319	6	294	95	282

クラブ	囲碁	合計
開催回数	24	580
参加人数	315	6245

ディスコンは、5月退会
なつかしの歌を唄う会、舞踊はコロナ禍で活動自粛

（4）　高齢者の生きがいと健康づくり推進事業の実施

高齢者の社会参加を促進するため、たまり～なにおいて新規の教室を計画したが、コロナの影響もあり実施できなかった、

（5）　掛川市シニアクラブ連合会への支援

①　シニアクラブ掛川と各支部との連携・活動支援

シニアクラブ会員 4,671 人の事務局として、掛川・大東・大須賀支部の連携を図り、各支部相互の調整・親睦に努めた。

・運営事業
　正副会長会　8回・理事会4回・評議委員会4回
　監事会1回

・第14回シニアクラブ掛川の輪投げ大会の開催
　日　時　令和4年9月9日（金）　会場　南体育館しーすぽ

参加者　140 人　　チーム数 16（掛川支部 7　大東支部 6　大須賀支部 3 ）

・第 18 回掛川市シニアクラブ大会の開催

日　時　令和 4 年 11 月 30 日（水）13:00～15:30

会　場　掛川市生涯学習センター　大ホール

参加者　会長・理事・評議員・来賓・被表彰者　計 200 名

内　容　功労者表彰・静岡県警察音楽隊演奏/掛川警察署生活安全課

・シニアクラブ静岡県主催事業への参加

（理事会・評議委員会・女性委員会・若手委員会・単老会長新任会長会・グラウンド.ゴルフ大会・輪投げ大会）

・関係機関・団体活動への参加・協力

・シニアクラブが自治体と連携を図るための支援をした。

②　シニアクラブ掛川・掛川支部への活動支援

掛川支部会員 1,926 人の事務局として、支部活動の支援を行うとともに大東・大須賀支部との親睦交流・情報交換に努めた。

・正副支部長会 8 回、理事会 8 回、評議員会 1 回、監事会 1 回の開催。

・広報誌「シニアクラブ掛川・掛川支部だより」を発行。区長会に協力要請し、旧掛川市内全戸に回覧した。

・支部版「加入促進パンフレット」を活用し、シニアクラブ活動を周知した。

・支部情報による情報提供。

・輪投げ大会（20 チーム・140 人参加）

・地区グラウンドゴルフ大会（参加者 330 人）

・支部グラウンドゴルフ大会（参加者 130 人）

・健康講演会（参加者 58 人）

・単位クラブでの「自立体力テスト」の実施

・文化祭作品展（出品作品数 253 点）

・演芸大会（出演者数　歌の部 77 人　演芸の部　27 組 141 人）

・高齢者相互支援推進活動を実施。（安否確認・話し相手等を中心に実施）

要支援対象者　347 人　　活動実施回数 7,040 回

・配偶者のいない会員を対象に「ひとり身会」の開催

・長寿者表彰の実施　　喜寿・米寿・白寿・金婚・ダイヤ婚　21 組　131 人

・レクリエーションダンス講習会の開催　1 回　参加者 18 人

・レクリエーションダンスクラブ（会員 27 人　月 1 回開催）

・掛川支部ゴルフ大会の開催　参加者 72 人

・ノルディックウォーキングの開催　参加者 20 人

・社会奉仕活動の実施。地域の清掃、樹木の手入れ、花壇の管理等、3,014 人

・公共施設に雑巾、タオル、ゴミ袋等の寄贈を行なった。

③掛川支部・大東支部・大須賀支部への共通の活動支援

・シニアクラブ掛川主催行事への参加

（シニアクラブ大会、輪投げ大会、クラブ活動推進相談員研修会、正副会長会、理事会、評議員会、女性部交流会）

④シニアクラブあり方意見交換会への参加

シニアクラブ、市長寿推進課、社協で今後のシニアクラブのあり方を検討する場

で意見交換をした。

日	内　　容
6月30日（木）	前回までのありかた検討会で共有した情報確認 今後の展望について　他
8月22日（月）	検討課題テーマの確認
9月30日（金）	前回の回答説明等

＜２＞　生きがい活動支援

（１）　生きがい活動支援通所事業の実施(受託)（笑顔と生きがいづくり支援事業）

介護保険の対象にならない家に閉じこもりがちな高齢者を対象に、必要に応じて送迎を行い、健康体操、教養講座、レクリエーション、趣味活動、創作活動等の生きがいづくりや介護予防のためのサービスを提供した。

利用者が気軽に自ら通え、利用しやすい地域会場開催にむけて地元組織と調整会議を行った。(原泉地区２回、東山口地区５回)

①　掛川区域

(1) 桜木生きデイ

桜木高齢者いきいきセンター、原泉地域生涯学習センター（R4.12月～）

実施日　　月曜日～金曜日
時　間　　10：00～12：00
利用料　　400円

(2) 東部生きデイ

東部ふくしあ、日坂地域生涯学習センター（R4.4月～）、
東山口地域生涯学習センター（R5.1月～）

実施日　　月曜日～金曜日
時　間　　10：00～12：00
利用料　　400円

登録者数（人）　　令和5年3月31日現在

区　分	実施個所	男性登録者	女性登録者	合　計
桜　木	高齢者いきいきセンター	2	103	105
	原泉地域生涯学習センター	0	10	10
東　部	東部ふくしあ	2	57	59
	日坂地域生涯学習センター	0	13	13
	東山口地域生涯学習センター	0	15	15
合　計		4	198	202

2箇所の月別利用者数（人）　　7/26・9/8大雨警報の為中止

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
桜木	208	199	223	182	219	211	217	196	193	176	189	229	2442
東部	219	201	227	180	206	180	217	216	206	179	209	211	2451
合計	427	400	450	362	425	391	434	412	399	355	398	440	4893

②　大東区域

大東生きデイ

老人福祉センター山王荘や８ケ所の地域の公会堂等で実施
実施日　月曜日～金曜日
時　間　10：00～12：00
利用料　400 円

実施日及び登録者数（人）　　令和 5 年 3 月 31 日現在

実 施 場 所（11 箇所）	実　施　日	男性登録者	女性登録者	合　　計
①畑ヶ谷集会所/川久保集会所	第 4 月曜日	0	11	11
②嶺向公会堂	第 2 月曜日	0	5	5
③上土方ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	第 2・4 火曜日	0	10	10
④老人福祉ｾﾝﾀｰ山王荘(男性)	第 1・3 月曜日	5	0	5
⑤佐束公民館	第 1・3・5 火曜日	0	5	5
⑥老人福祉ｾﾝﾀｰ山王荘（大坂･睦浜）	毎週水曜日	0	16	16
⑦国浜ｺﾐｭﾆﾃｨｰ防災ｾﾝﾀｰ	第 2・4 木曜日	0	8	8
⑧老人福祉ｾﾝﾀｰ山王荘（千浜）	第 1・3 木曜日	0	10	10
⑨菊浜集落ｾﾝﾀｰ	第 2・4 金曜日	0	5	5
⑩中ｺﾐｭﾆﾃｨｰ防災ｾﾝﾀｰ	第 1・3 金曜日	0	11	11
合　　計		5	81	86

※　④は男性のみを受け入れ

10 箇所各生きデイの月別利用者数(人)　　7/26・9/8 大雨警報の為中止

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
①	9	9	9	10	11	11	10	11	9	10	10	11	120
②	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	59
③	23	28	25	11	23	24	22	22	19	16	17	18	248
④	7	9	10	5	9	5	11	9	8	5	7	8	93
⑤	6	5	6	5	6	2	2	12	7	10	10	5	76
⑥	48	37	45	44	34	38	47	47	34	36	53	55	518
⑦	16	14	14	14	7	5	14	14	14	11	6	11	140
⑧	22	12	23	19	16	20	19	9	19	17	16	17	209
⑨	9	8	9	7	9	7	9	8	6	8	8	8	96
⑩	23	21	22	18	15	20	21	17	18	17	17	17	226
合計	168	147	168	138	135	137	160	154	139	135	149	155	1,785

③　大須賀区域

大須賀生きデイ

会　場　大須賀老人福祉センターで実施
実施日　火曜日～金曜日（各曜日：月４回）
時　間　10:00～12：00
利用料　400 円

実施日及び登録者数（人）　　令和 5 年 3 月 31 日現在

実　施　場　所	実施日	男性登録者	女性登録者	合計
①大須賀老人福祉センター	毎火曜日	0	8	8
②大須賀老人福祉センター	毎水曜日	0	5	5
③大須賀老人福祉センター	毎木曜日	0	9	9
④大須賀老人福祉センター	毎金曜日	0	6	6
合　　計		0	28	28

4 箇所の月別利用者数（人）　　**7/26・9/8 大雨警報の為中止**

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
①	30	30	30	20	24	31	30	30	25	28	31	23	332
②	12	11	15	18	18	19	17	19	12	11	16	16	184
③	30	19	29	29	21	18	23	20	28	32	25	29	303
④	36	30	24	18	16	26	26	26	19	14	12	12	259
合計	108	90	98	85	79	94	96	95	84	85	84	80	1,078

3　子どもの成長と子育てを支援する事業

＜1＞　子ども支援活動

（1）　おもちゃ図書館の開館

おもちゃ図書館は、障がいのある子もない子も共に、様々なおもちゃで楽しく遊ぶことを通し、心豊かに育ちあう場、また親同士の交流や子育て相談の場として開催した。

※コロナの感染予防の為、人数制限し開催(10 組)。開催時間も午前、午後に分けて開催。

開館日　毎月第 3 日曜日　10：00～12：00　13:00～15:00

開催場所　総合福祉センター1 階　　My ラボ

利用状況

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
大人利用者	19	13	20	14	15	18	5	19	11	11	16	14	175
子ども利用者	21	12	21	13	14	22	8	24	11	16	22	20	204
ボランティア数	7	9	6	10	6	4	9	6	10	5	11	8	91
合　　計	47	34	47	37	35	44	22	49	32	32	49	42	470
おもちゃ貸出数	15	7	13	5	13	22	10	18	13	14	12	15	157

（2）　おやこたけのこ教室の実施

市の健康医療課で行っている療育教室の運営し発達に不安を抱いている保護者に関わり方のアドバイス等をおこなった。

開催日　　月曜日・水曜日　（年 46 回計画）

開催場所　掛川児童交流館・はるかぜ

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
回数	2	4	4	2		2	6	6	6	5	5	4	46

利用者数	48	106	123	65		62	140	135	129	139	131	119	1,197

（夏休み期間中は開催無し）

＜２＞　子育て支援活動

（１）　放課後児童健全育成事業(学童保育所)の実施(受託)

就労などの事情により、昼間保護者が家庭にいない児童に対して、放課後等に保育を行い、児童の健全育成及び保護者の就労と子育ての両立支援を図った。

[保育所数]12 箇所

①中央小　②中央小分室　③西山口小　④西山口小分室　⑤第二小
⑥第二小つくし会場　⑦大坂小　⑧大坂小分室　⑨千浜小　⑩土方
⑪佐束小　⑫大渕小

[対象児童]　1 年生～3 年生

[開設期間]　月曜日～土曜日（土曜、祝日は希望者のみ）12：30～18：30
長期休暇中、土曜、祝日　7：30～18：30

①月別延べ利用者数（人）

西山口小学童保育所　8/1（月）～8/5（金）新型コロナウイルス感染拡大防止のため閉所
大坂小学童保育所　1/24（火）25（水）新型コロナウイルス感染拡大防止のため閉所

学校名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	3月末登録数
中央小	905	869	1005	853	609	961	920	895	856	752	843	869	10337	53
中央小分室	752	720	855	704	520	719	709	669	602	567	644	670	8131	42
西山口小	815	883	936	766	474	703	662	661	637	592	631	657	8417	42
西山口小分室	501	375	507	448	88	493	426	475	365	333	363	428	4802	27
第二小	404	418	475	396	342	430	424	454	447	383	405	448	5026	26
つくし	520	534	610	546	515	545	547	528	511	478	508	576	6418	35
大坂小	475	435	624	502	377	488	473	431	415	253	368	339	5180	24
大坂小分室	217	185	253	208	120	195	168	172	139	102	137	153	2049	12
土方小	531	488	605	504	406	577	491	521	512	447	478	507	6067	33
千浜小	318	366	451	351	289	407	381	420	356	336	354	336	4365	23
佐束小	212	174	237	197	161	208	195	188	159	159	163	184	2237	12
大渕小	82	101	157	123	102	130	123	116	92	107	99	89	1321	10
中央小土曜	21	17	26	26	11	16	26	17	16	16	17	15	224	7
土方小土曜	0	3	6	8	5	2	6	8	8	6	2	4	58	3
土方小祝日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1

合計	5753	5568	6747	5632	4020	5874	5551	5555	5115	4531	5012	5275	64633	350

②施設整備の実施

利用児童が増加することに伴い安全性を考慮し、施設整備を実施した

(1) 西山口小学童保育所南館増設
(令和 5 年 3 月利用開始)

(2) 千浜小学童保育所空き教室整備
(令和 5 年 4 月利用開始)

西山口学童保育所南館

(2) 放課後等デイサービス事業 2 箇所(はるかぜ・みなみかぜ)

心身に障がいを持つ児童が、可能な限りその地域で生活が継続できるように、利用児の成長につながる心豊かな放課後及び長期休暇活動を支援するとともに、保護者及び家族の養育負担を軽減することを目的として実施した。

[対象児童] 袋井特別支援学校、掛川特別支援学校及び御前崎分校
小中学校特別支援学級の児童生徒、掛川市内受給決定を受けた児童生徒

[開設時間] 月曜～金曜 はるかぜ(平成 27 年 4 月開所) 下校時～17：30
みなみかぜ(平成 17 年 10 月開所) 下校時～17：30
長期休暇 9：00～17：00(半日 9：00～12：00 13：00～17：00)

令和４年度、増加する利用児の安全かつ快適な利用空間を確保するため、社会福祉充実計画を活用し、園庭部分に屋根を設置し、全天候型のケアスペースの増設を行った。

「放デイ 2 事業所の年間事業」

①「はるかぜ」

・希望の丘運営委員会…年 2 回実施

・希望の丘防災に関する打合せ　年 2 回開催
・希望の丘防災訓練　年 1 回実施
・スタッフ会議…毎月一回実施
・避難訓練…毎月一回実施（地震・火災・不審者・通報訓練）

②「みなみかぜ」
・スタッフ会議…毎月一回実施
・避難訓練…毎月一回実施（地震・火災・不審者・津波）

③「2 事業所合同」
・掛川社協放課後等デイサービス保護者向け説明会：紙面で個別説明
・法令順守　　新型コロナウイルス感染症予防の為、各事業所にて開催
・クリスマス会　新型コロナウイルス感染症予防の為、各事業所で縮小して開催

利用状況「はるかぜ」（平成 27 年 4 月 1 日開設）　**登録者数 55 人（定員 20 人）**

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
稼 働 日	20	19	22	20	19	20	20	20	20	19	19	22	241
利用者数	363	370	406	378	320	345	362	414	371	323	379	404	4435

昨年比　140 人増

利用状況「みなみかぜ」（平成 17 年 10 月 3 日開設）　**登録者数 17 人（※定員 10 人）**

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
稼 働 日	20	19	22	20	20	20	20	20	20	19	19	22	241
利用者数	149	156	180	171	140	156	156	156	149	129	141	167	1859

昨年比　103 人減

・東遠地域自立支援協議会放課後等デイサービス連絡会 2 回実施

（3）　児童発達相談員派遣事業の実施(受託)

心身の発達の遅れが認められる児童の家庭につき、児童発達相談員を派遣し、当該児童に対する発達促進指導、心身の発達に関して必要な情報の提供並びに当該児童の心身の発達に関する相談及び助言をした。

活動状況

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
登録数	3	3	3	4	5	5	5	6	7	7	6	6	60
訪問者数	3	3	3	2	5	5	4	4	3	6	5	6	49
訪問回数	8	11	11	8	15	11	9	8	6	15	12	13	127

・乳幼児処遇検討会　2 回/年
・子育て支援センター会議　1 回/年参加

（4）　養育支援訪問事業

健康医療課より訪問委託された家庭に 1 件につき 10 回まで訪問し、子育て相談にのり、育児力の向上と育児ストレスの軽減をする。

訪問回数　93 回　**利用登録件数**　10 件

（5）　子育て相談

健康医療課の依頼を受け子育て相談日に参加する。または電話相談にて随時受付。

相談件数　30 件

（6）　子育てサロン・サークルの活動支援

子育てサロン・サークルの活動状況の把握に努め、活動支援を行った。
コロナ禍の為、活動を自粛するサロン・サークルもあり、活動内容については電話による相談対応、また希望するサロン・サークルへの訪問対応をした。訪問時には子育てに関する情報提供するとともに、活動の実態を把握し、コロナ禍での活動の工夫や対策及び要望を聞く機会とした。

訪問件数　5 件（児童交流館と共同で訪問 1 件）

（7）　子育てサロン・サークル実践者のアンケート調査

子育てサロン・サークルにコロナ禍での開催状況、活動においての困りごと及び利用者からの相談等のアンケート調査を実施した。

（8）　子育てサロン・サークル実践者の情報交換会

サークル・サロン団体が互いの運営方法や活動内容等について情報交換をすることで交流を深め、より良い関係を構築できるよう実施した。

開 催 日　6 月 16 日(木)　10：00～11：30
開催場所　あいり～な　総合福祉センター２階　教養会議室
対象団体　登録団体 22 団体
参加団体　登録団体 11 団体　14 名　子ども 4 名
　　子ども政策課 1 名、ファミリーサポート 1 名、
　　子育てコンシェルジュ 1 名、掛川児童交流館 19 名

施策３　市民参加のまちづくり

１　市民を育てるボランティア活動推進事業

＜１＞　ボランティアの開拓・養成

（1）　ボランティア養成講座の実施

ボランティア活動のきっかけづくりとして、講座を開催した。
日　時　令和 4 年 11 月 11 日(金)13:30～16:30
会　場　総合福祉センターあいりーな　2 階　教養会議室
講座名「ひきこもり支援ボランティア養成講座」
講　師　静岡県西部保健所、社会福祉法人デンマーク牧場福祉会、静岡県精神保健福祉センター、静岡県中西部発達支援センターCOCO
内　容　(1)講話
　①不登校・ひきこもり支援について「ひきこもりの理解」
　②居場所「ひとむれ」の取り組み
　③居場所静岡式　利用者の変化
　④発達障がいについて
　(2)My ラボ体験（11 月 6 人、12 月 6 人）※1 人は体調不良のため未実施
参加者　受講者 14 人、講師 7 人、職員 7 人　計 28 人

（2） 青年ボランティアの育成

大学生のボランティアに関する相談を受け付け、青年学級、ボランティア団体、福祉施設でのボランティアにつなげた。

＜２＞ ボランティア活動支援

（1） ボランティアセンターの運営

ボランティア情報を提供し、実践の支援、調整を行うため、ボランティアコーディネーターを配置し、ボランティアセンターの運営を行った。

（2） ボランティアセンター運営会議の設置

ボランティアセンター運営会議は設置できなかった。

（3） ボランティア連絡協議会への支援(事務局)

本部役員会　６回（4/22,7/29,9/17,11/25,2/3,3/25）
支部役員会　掛川支部：0 回　大東支部：0 回　　大須賀支部：0 回
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、支部役員会は一部中止した。

・事業報告

月日	曜日	本部・支部	内　　容	会　場・行　先	参加者数
5/21	土	本部	総会	大東市民交流センター	31 人
10/16	日	本部	令和４年度掛川市ふれあい広場参加	掛川市生涯学習センター	５人
11/12	土	本部	掛川市ボランティアのつどい	総合福祉センターあいり～な	21 人
11/27	日	大東	大東児童館協力（バルーンづくり）	大東児童館	１人
2/5	日	大須賀	遠州横須賀凧揚げまつり	遠州夢咲農協大須賀ライスセンター	10 人
2/19	日	本部	静岡県ボランティア研究集会	裾野市生涯学習センター	３人

・ボランティア活動費助成　２団体に助成
・広報誌「ボラ連ニュース」を２回発行（8 月、1 月）

＜３＞ 多様な担い手との連携

（1） 市民交流センター・活動団体との連携

市の協働推進課、市民交流センターとボランティアセンターが連携を図ることで市民への情報提供の枠が広がるなど様々な効果が期待されるが、具体的な連携について協議できなかった。

（2） NPO 団体等との連携

福祉ボランティア以外のさまざまな活動を展開する NPO 団体や市民活動団体との連携を図った。

・社協登録（NPO）　5 団体　「ジョイントサークルかたくり」「風の家」「WAKUWAKU 西郷」
「掛川国際交流センター」「掛川シニア交流研究会」

（3）　企業の社会貢献啓発・支援事業

企業における社会貢献活動のきっかけづくりとして、企業と連携し実施した。

①　株式会社三善

◎寄付つき商品販売キャンペーン

実施期間：令和4年10月1日(土)～11月30日(水)

本キャンペーンで集まった寄付金は本会へご寄付いただき、生活困窮者の食糧支援に係る費用として活用した。

◎フードドライブボックスの設置

実施期間：令和4年10月1日(土)～11月30日(水)

フードドライブボックスに寄付された食品は本会へご寄付いただき、生活困窮者の食糧支援として活用した。

（4）　プロボノ活動の普及・支援

企業や社会福祉法人等を対象に、プロボノ活動の呼びかけを行った。

2　地域を育てる地域活動支援事業

＜1＞　地区福祉協議会のネットワーク強化

（1）　掛川市地区福祉協議会連絡会の運営支援（事務局）

①　地区福祉協議会連絡会役員会の実施(1回)

・会場：掛川市総合福祉センター 1階　作業室

・日時及び内容

第1回目

日　時　令和4年 4月27日(水)13:30～14:30

参加者　地区福祉協議会連絡会正副会長及び社協担当者　9人

内　容　正副会長選出・承認、新任役員研修会・合同会議・年間スケジュール、市民地域福祉セミナー内容について

②　地区福祉協議会連絡会代表者・企画委員長合同会議の実施(各エリア3回)

地域福祉推進組織相互の情報交換や課題対応の検討を行い、地域活動の活性化や市社協活動への反映を図る場としてエリア別に開催した。

【東部エリア】

ア　日　時　令和4年 5月18日(水)13:30～15:00

会　場　総合福祉センター1階　作業室

参加者　19人

内　容　地域福祉関連事業スケジュールについて

第四次地域福祉計画地域福祉活動計画について

地域福祉推進のための重点取り組み事業について　他

イ　日　時　令和4年 8月24日(水)13:30～15:40

会　場　東部ふくしあ2階　研修室

参加者　19人

内　容　第四次地域福祉計画・地域の推進状況について

東部エリア小地域福祉ネットワーク研修会について

地域福祉推進状況の確認と課題ついて　他

ウ　日　時　令和 5 年 3 月 8 日(水)13:30～15:00
　　会　場　東部ふくしあ 2 階　研修室
　　参加者　24 人
　　内　容　「サロン・居場所」、「見守りネットワーク」活動調査について
　　令和 5 年度地域関連事業　年間スケジュール予定
　　各地区の地域福祉推進体制と次年度の活動について　他

【中部エリア】
ア　日　時　令和 4 年 5 月 18 日(水)13:30～14:20
　　会　場　教養会議室
　　参加者　22 人（地区役員 13、中部ふくしあ 2、福祉課 1、長寿推進課 1、社協 5）
　　内　容　地域福祉関連事業スケジュールについて
　　第四次地域福祉計画地域福祉活動計画について
　　地域福祉推進の重点目標について　他

イ　日　時　令和 4 年 8 月 19 日(金)13:30～15:00
　　会　場　中部ふくしあ　会議室
　　参加者　17 人（地区役員 11、実習生 2、社協 4）
　　内　容　第四次地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗状況について
　　アンケート説明と協力依頼について
　　中部エリア小地域福祉ネットワーク研修会について

ウ　日　時　令和 5 年 3 月 6 日（月）13:30～14:50
　　会　場　中部ふくしあ　会議室
　　参加者　16 人（地区役員 12、社協 4）
　　内　容　ふれあいサロン・小地域福祉ネットワーク活動調査について
　　令和 5 年度地域関連事業年間スケジュール予定
　　各地区の地域福祉推進体制と次年度活動について　他

【西部エリア】
ア　日　時　令和 4 年 5 月 18 日(水)13:30～14:20
　　会　場　桜木ホール
　　参加者　15 人（地区役員 11、行政 1、包括 1、社協 2）
　　内　容　地域福祉関連事業スケジュールについて
　　第四次地域福祉計画地域福祉活動計画について
　　地域福祉推進の重点目標について　他

イ　日　時　令和 4 年 8 月 31 日(水)13:30～15:30
　　会　場　西部ふくしあ　会議室
　　参加者　17 人（地区役員 12、福祉課 1、社協 4）
　　内　容　第四次地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗状況について
　　アンケート説明と協力依頼について
　　西部エリア小地域福祉ネットワーク研修会について

ウ　日　時　令和 5 年 3 月 16 日（木）13:30～14:50

会　場　西部ふくしあ　会議室
参加者　16 人（地区役員 12、社協 4）
内　容　ふれあいサロン・小地域福祉ネットワーク活動調査について
令和 5 年度地域関連事業年間スケジュール予定
各地区の地域福祉推進体制と次年度活動について　他

【大東エリア】
ア　日　時　令和 4 年 5 月 18 日(水)13:30～14:20
会　場　大東市民交流センター　会議室
参加者　15 人
内　容　地域福祉関連事業スケジュールについて
第四次地域福祉計画地域福祉活動計画について
地域福祉推進の重点目標について　他

イ　日　時　令和 4 年 8 月 24 日(水)　19：00～21：00
会　場　大東市民交流センター　会議室
参加者　17 人
内　容　第四次地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗状況について
第四次計画アンケートの説明と協力依頼について
大東エリア小地域福祉ネットワーク研修会について

ウ　日　時　令和 5 年 3 月 22 日（水）19:00～20:30
会　場　大東市民交流センター　会議室
参加者　25 人
内　容　地区福祉協議会からの報告・連絡事項
エリア代表選出
今年度の報告と次年度の計画について

【大須賀エリア】
ア　日　時　令和 4 年 5 月 18 日(水)13:30～15:00
会　場　大須賀支所 多目的室
参加者　8 人
内　容　地域福祉関連事業スケジュールについて
第四次地域福祉計画地域福祉活動計画について
地域福祉推進の重点目標について　他

イ　日　時　令和 4 年 8 月 23 日（火）13:30～15:00
会　場　大須賀支所 多目的室
参加者　8 人
内　容　第四次地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗状況について
アンケート説明と協力依頼について
大須賀エリア小地域福祉ネットワーク研修会について

ウ　日　時　令和 5 年 3 月 3 日(金)13:30～15:00
会　場　大須賀市民交流センター2 階　ミーティングルーム 2・3
参加者　9 人（地区役員 5、社協 4）
内　容　令和 4 年度報告・令和 5 年度計画、各種提出書類について

各地区の地域福祉推進体制と次年度活動について　他

＜２＞　地区福祉協議会活動の充実

（１）　地区福祉協議会活動支援

「掛川市の地域福祉組織化の方針」に基づき、平成 30 年度までに地区福祉協議会等が市内 35 地区で設置（原則、小学校単位としているが、地域の実情にあわせ、取り組みしやすい単位で設置している）し、同組織の基盤強化、活動の充実のための支援をおこなった。

地区名	組　織　名	主　な　活　動　内　容
第一小	第一小地区 福祉協議会	総会、企画委員会 1 回、独居高齢者昼食宅配（年 8 回）、高齢者サロン（仁藤町、城内、旭ケ丘、道神・六軒訪問等実施、旭町、神明町 10 回、肴町 19 回、喜町・新町 6 回）子育てサロン（旭ケ丘かるがも）、広報紙桔梗が丘に記事掲載、居場所(喜町カフェ)開始
西山口	西山口地区 福祉協議会	総会、M 会(38 回)、高齢者サロン（青葉台 8 回・成滝中止)、子育てサロン（サークルじゃがいも 12 回)、西山口小学校（下校声かけ、図書館協力)、子ども福祉委員会、児童支援講座 1 回、のびのび健康講座 3 回、グラウンドゴルフ大会、まちづくり協議会広報誌ひとがき発行、児童支援講座（3 回)、すこやか子ども園、東中・西山口小花壇協力
東山口	東山口地区 福祉協議会	高齢者サロン（さかがわ、東部・中部・西部・宮村、）戸別訪問等、塗り絵作成展示、健康体操、子育てサロン（みんなであそぼう会)、見守りネットワーク、図書館の本の貸出、高齢者 1 人世帯へのお弁当・手作り年賀状配付、輪投げ、健康体操
日坂	日坂地区 福祉協議会	総会（書面)、企画委員会（4 回）高齢者サロン（元気のつどい、百寿会)、子育てサロン（ちゅーりっぷ)、独居高齢者夕食宅配（2 回)、見守りネットワーク、孤立を防ぐ活動、「広報にっさか」で活動紹介、社協だより記事掲載、健康福祉部会（2 回）
東山	東山地区 まちづくり協議会 福祉部	総会（書面)、企画会議（4 回)、冬の三世代交流（しめ縄づくり、餅つき、サンタプレゼント）
粟本	粟本地区 まちづくり協議会 健康福祉部	企画委員会 1 回、学習講座 2 回（見守りネット勉強会・介護保険について）広報誌発行（図書館・学習センター掲示）高齢者サロン（一膳会、そらまめ会）子育てサロン（子育て広場げんきっこ）
葛ケ丘	葛ケ丘地区 福祉協議会	高齢者サロン(すみれ会)、複合サロン(かつらがおかなかよしサロン→事業休止)、子育てサロン（どようひろば)、 認知症を防ぐための講座、見守りネットワーク報告会 3 回 チームオレンジ企業アンケート実施
城北	城北地区 まちづくり協議会 健康福祉部会	福祉部会企画委員会 12 回、見守り推進委員会 4 回、高齢者サロン（北門 12 回、城北町 7 回・弥生町 11 回・下西郷 10 回・下西郷西 10 回)、広報「しろきた」発行（3 回)、ふれあいまつり（折り紙、ちぎり絵、小物入れ、ｺｰｽﾀｰ展示)、

		子どもの遊び場月～水,日曜日、
倉真	倉真地区 福祉協議会	役員会（2 回)、専門部員会 12 回、高齢者サロン（笑輪会・さくら会)、子育てサロン（こぶたクラブ 28 回)、ふれあい祭、健康講座、食育指導講習会（6～12 月)、収集活動（ベルマーク・古切手・書き損じはがき)、広報くらみ発行（2 回)、昼食宅配(1 回)、学童保育、パンダひろば（週 5 回)、福祉バス運行、奉仕活動（地区センター周辺の清掃ボランティア・倉真川の水質検査（4 回）
掛川第三	第三地区 福祉協議会	役員会（理事会、企画委員会)、総会（書面決議)、子ども会児童から敬老会対象者へ年賀状等の差し出し、健康体操教室（10 回)、見守りネットワーク、コロナ対策（第三地区 11 町及びゆうあいセンターに非接触型体温計設置)、高齢者サロン（小鷹町 3 回、十九首 24 回、西町、)、子育てサロン（11 回)、複合サロン（十王 11 回、中央高町 12 回※中止（高齢者ふれあいの会）
城西	城西地区 まちづくり協議会健康福祉教育部城西地区福祉協議会	総会、理事会兼企画委員会（3 回)、高齢者サロン（19 回)、城西だより発行、高齢者見守り活動、クリスマス会（プレゼント配布)、ふれあい年賀状※中止（高齢者ふれあい昼食会、役員研修会、子育てサロン）
掛川第五	掛川第五地区 福祉協議会	企画委員会、総会、台風 15 号ボランティア、ボッチャ研修会、第五ふくし館畑作業、高齢者スカットボール大会、地区学習交流会、つくしなかよし広場、高齢者サロン（二瀬川 10 回、上屋敷 5 回、秋葉路 11 回、橘町 12 回、長谷 8 回、鳥居町 5 回、末広町 10 回、七日町 10 回、秋葉通り 24 回） 子育てサロン（10 回） ※中止（高齢者サロン（鳥居町)）
南郷	南郷地区 福祉協議会	理事会、総会（書面決議)、企画委員会（7 回)、障がい者福祉部会研修会、高齢者サロン（10 回)、ミニデイサービス、一人暮らし高齢者昼食懇談会、ミニサロン（2 回)、子育てサロン（9 回)、こども食堂（5 回)、道路バリアフリー調査（調査 1 回、市報告 1 回)、声の郵便（8 回)、フリーマーケット、正月かざり作り教室、見守りネットワーク活動
西南郷	西南郷地区 福祉協議会	総会、企画委員会（6 回)、役員研修会（権利を守るために)、見守りネットワーク、フェスティバル西南郷・三世代交流会、障がい児（者）交流会（みんな一緒の地域づくり)、おたより交流会（年賀はがき)、輪投げ交流会、ふれあい事業への参加依頼・PR（おたより交流会実施のお知らせ、高齢者輪投げ交流会参加者募集ちらし)、高齢者サロン（久保 9 回)、子育てサロン（15 回)、複合サロン（神代地 4 回）

上内田	上内田地区 福祉協議会	総会、企画委員会（2 回)、研修会（安全安心まちづくり研修会、地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会)、定例区長会に出席して情報収集、広報誌発行（上内田福祉だより（12 回)、上内田にこにこひろばだより（12 回)、グラウンドゴルフ大会（3 回)、上内田ゴルフ愛好会（コンペ 4 回、助成)、見守りネットワーク、地域安全推進活動（昼間、夜間)、学童保育（年間 241 日)、ひろば事業（年間 141 日)、高齢者サロン（10 回)、子育てサロン（7 回)、かろやか体操（21 回)
曽我	曽我地区 福祉協議会	総会、福祉部企画運営委員会（3 回)、古紙回収活動、そが広報誌発行（4 回)、高齢者サロン（高御所 11 回、篠平 12 回)、子育てサロン（ひよこ 19 回、こっこ 31 回)、複合サロン（細沢 18 回)、助成金非対象サロン（篠平 1 回)、※中止（敬老会、センターまつり)
西郷	西郷地区まちづくり協議会地域福祉部	高齢者サロン（小市 11 回・長間 12 回・方の橋 12 回・さわやかサロン西郷 12 回)、高齢者昼食懇談会（1 回)、スクエアステップ（19 回)、子育てサロン（11 回)、子供対象の作文教室（3 回)、キッズ運動教室（12 回)、子供対象の工作教室（2 回)、障がい者への対応の勉強会、ウォーキング大会、歴史教室、西郷ふれあいフェスティバル ※中止　スポーツ交流
原泉	原泉地区 福祉協議会	高齢者サロン(桜のサロン 24 回、いずみ会、52 回)、一人暮らし高齢者へのお菓子の配布＆見守り（2 回)、敬老会
原田	原田地区 福祉協議会	高齢者サロン（元気クラブ 10 回､)、子育てサロン（なかよしキッズ 11 回)、昼食宅配（１回）ふれあいお手紙(暑中見舞い・年賀状)、福祉だより（年 2 回)・ふくし館だより（年 4 回）の発行、地域住民への福祉情報提供（年 2 回)、地域住民への活動状況を提供（年 4 回)、生活支援車運行（週 3 回)・サロン参加者送迎（年 10 回)、「AED」救命講習
原谷	原谷地区 福祉協議会	高齢者サロン（本郷西 12 回・本郷南 12 回)、子育てサロン（親子ふれあいの部屋 48 回)、高齢者昼食宅配サービス（3 回)、夏休みこども映画会、認知症研修会、学童保育運営
桜木	桜木地区 福祉協議会	子育てサロン（12 回)、ふくしの郷さくらぎ（2 回)、さわやか健康教室（9 回)、子育て支援部クリスマス会、見守りネットワーク研修会（下垂木 3 区) ※中止　茶話会、敬老会協力、さわやかサロン（5 会場各 1 回)、健康サロン、うたごえサロン、チャリティーバザー、障がい者児童との茶話会、防災訓練
和田岡	和田岡地区 福祉協議会	子育てサロン（親子ふれあいの部屋 13 回)、福祉協だより（2 回)、高齢者サロン（和会 2 回)、地域出前講座、敬老会＆フェスティバル
千浜東	千浜東区 福祉委員会	福祉委員会（中止)、ふれあい交流会（1 回)、あじさいサロン（高齢者サロン)、サロン歩みの会（高齢者サロン)、笑来福（開催自粛)、小地域福祉ネットワーク活動（1 回)、千浜東区西区合同敬老会（記念品配布)、千浜東区コロナ感染

		防止対策検討会参加（2 回）
千浜西	千浜西区 福祉委員会	福祉委員会（3 回）、役員会、認知症勉強会、千浜東区西区合同敬老会（配布協力）
国浜	国浜区 福祉委員会	企画委員会（6 回）、福祉委員会（1 回）、見守り活動、国浜サロンふらっと（3 回）、千浜小学校あいさつ運動（2 回）
三浜	三浜区 福祉委員会	福祉委員会（6 回）、見守り活動（11 回）、三浜ふれあいサロン（高齢者サロン 9 回）
浜野	浜野区 福祉委員会	福祉委員会（1 回）、福祉懇談会（中止）、敬老会協力、体験農園協力（2 回）、浜野ふれあいサロン（高齢者サロン 3 回）、見守りネットワーク（2 回）、初日の遥拝、古切手収集
大坂	大坂地区 まちづくり協議会 健康福祉部	健康福祉部会ワークショップ 6 回、生活支援車両運行検討会（ワークショップ 5 回、勉強会 2 回、対策会議 1 会）広報おおさかに記事掲載、ふれあい交流会（中止）・高齢者サロン（東大坂 10 回・三井 6 回開催その他訪問活動など）・複合サロン(大坂 5 回・三井 8 回、訪問 4 回）健康体操（9 回）、見守りネットワーク活動、敬老会（記念品配布）
土方	土方地区 まちづくり協議会 健康福祉部	福祉部会 5 回・支部福祉委員会（上土方 2 回・下土方 1 回）・井戸端サロン（複合サロン）電話で安否確認・菜の花サロン（複合サロン）3 回・ゆったり笑話会サロン（複合サロン）中止・白寿会中止・ラジオ体操（下中・畑ヶ谷は前半実施、）見守りネットワーク活動、土方地区敬老会（記念品配布）

佐束	佐束地区 まちづくり協議会 福祉部	健康福祉部会 4 回・総会 1 回・専門部特別部会 1 回・福祉委員会（各区 2～5 回）ふれあい交流会(高瀬 2 回・小貫 1 回、中方 2 回訪問)・高瀬交遊クラブ（複合サロン）6 回・小貫ふれあいサロン（複合サロン）1 回・岩滑いきいき広場（高齢者）3 回・見守り支援活動（高瀬・小貫・中方・岩滑）・防災訓練（各地域）
中	中地区 まちづくり協議会福祉部	福祉部会 2 回、福祉懇談会、ふれあい交流会（睦三 1 回）、中地区安心安全見守りネット、中地区敬老会（記念品配布）
大須賀 第一	大須賀第一地区 福祉協議会	役員会 1 回、企画推進委員会 7 回、事務局会議 5 回、研修委員会 3 回、先進地視察研修（葛ケ丘）、講座委員会 3 回、まち協祭協力（ロコモ予防、休憩コーナー）、公共交通委員会 2 回、古切手適時回収、高齢者サロン：汐見ヶ丘 1 回、川原町 4 回、西大谷 4 回、柏平区 柏平いきいきウォーキング 12 回、区長会にて見守りネット体制説明
大須賀 第二	大須賀第二地区 福祉協議会	【第 1 支部】（軍全町サロン、気楽に寄ってサロン）12 回 【第 2 支部】通学児童声かけ運動 5 回 【第 3 支部】敬老会の協力（本谷） 【第 4 支部】通学児童への声掛け 5 回
大須賀	大須賀第三地区	定例会 5 回、高齢者サロン：沖之須わかばの会 3 回・西大

第三	まちづくり協議会 福祉委員会	渕わかばの会 1 回（随時自宅訪問）・今沢お弁天様サロン 2 回（自宅訪問 1 回）・川崎区茶話会（中止）、三世代交流会：沖之須 1 回、敬老会協力：脳トレチラシ配布
大渕	大渕地区 福祉委員会	定例会 12 回、わかばの会 12 回（自宅訪問）、小地域サロン：藤塚 3 回（自宅訪問）・雨垂 2 回（自宅訪問）・野中（中止）・浜 12 回、見守りネットワーク（9 区）、大須賀苑奉仕作業・敬老会協力

※サロン実績で会場数があるものは小地域開催型、会場数の無いものは全域対象型

（2） 地区福祉協議会新任役員研修会

地区福祉協議会の新任役員を対象に地域福祉活動に必要な研修を、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各エリア別で開催した地区福祉協議会連絡会代表者会終了後に各エリアで開催した。

【東部・中部エリア】
ア　日　時　令和 4 年 5 月 18 日(水)14:30～14:50
　　会　場　教養会議室
　　参加者　18 人（東部 10 人・中部 3 人）、社協 5 人
　　内　容　「地域福祉の必要性について」

【西部エリア】
ア　日　時　令和 4 年 5 月 18 日(水)14:25～14:50
　　会　場　桜木ホール
　　参加者　6 人（地区役員 4、社協 2）
　　内　容　「地域福祉の必要性について」

【大東エリア】
ア　日　時　令和 4 年 5 月 18 日(水)14:25～15:00
　　会　場　大東市民交流センター　会議室
　　参加者　13 人
　　内　容　「地域福祉の必要性について」

【大須賀エリア】
ア　日　時　令和 4 年 5 月 18 日(水)14:25～15:00
　　会　場　大須賀支所 多目的室
　　参加者　1 人
　　内　容　「地域福祉の必要性について」

（3） 地区福祉協議会助成事業の実施

身近な地域におけるきめ細かな福祉活動を実践するために、地域単位に活動拠点を設置し、地域の特性を生かした住民主体の地域福祉実践活動を行っている地区福祉協議会等へ活動費助成を行った。

実施地区　35 地区　　助成総額　8,489,600 円

（4） 地域福祉特別活動助成事業の実施

地域で行う高齢者や子育てサロンなど、一定の事業を実施する地域に対して助成し、地域の主体的な活動の育成・支援を実施した。

助成事業　31 地区・91 事業
助成総額　2,305,000 円
内　　容　高齢者サロン：　61 事業
　　子育てサロン：　19 事業
　　複合サロン：　11 事業

（5）　見守り・サロン（居場所）・家事支援活動の立ち上げ、活動支援、研修会の実施

※先進地視察研修、エリア別小地域福祉ネットワーク活動研修会で実施した。

（6）　小地域福祉ネットワーク活動の立ち上げ、活動支援

小地域福祉ネットワークを重点事業として各地域の立ち上げ、活動支援を行い、普及推進に努めた。認知症の人の見守り・支え合いについても、小地域福祉ネットワーク活動の一環として取り組んだ。少しずつではあるが、実践区数の増加とともに活動内容の充実が図られ、地域で支え合う住民の福祉力の向上が感じられる。CSW が兼務している生活支援コーディネーターが（SC）が地域の支え合い活動を積極的に支援していることが活動熟成の要因の一つになっていると考える。

① 小地域福祉ネットワーク活動取り組み状況調査の実施（4 月）

支援員型実施	準備中	検討中	地縁型実施	検討無	合計
89 区	2 区	26 区	39 区	46 区	202 区

② 小地域福祉ネットワーク活動研修会

市内ふくしあ圏域で「小地域福祉ネットワーク活動」の実践事例を通して、市内地区福祉協議会への普及を図ることを目的として研修会を開催した。

【東部エリア】
日　時　令和 4 年 11 月 22 日（火）13:30～15:00
会　場　東部ふくしあ　2 階研修室
参加者　21 人
内　容　講話「認知症の基礎知識と地域の現状について」
　　講師 東部包括支援センター　認知症推進委員　鈴木聖子　氏
　　懇話会

【中部エリア】
日　時　令和 4 年 11 月 18 日（金）13:25～14:55
会　場　中部ふくしあ　会議室
参加者　15 人（地区福祉協議会役員 11 人、社協 4 人）
内　容　テーマ　「先進地視察研修」振り返り
　　「ロードマップ」作成

【西部エリア】
日　時　令和 4 年 11 月 8 日（火）13:30～15:00
会　場　西部ふくしあ　会議室
参加者　10 人（地区福祉協議会役員 7 人、社協 3 人）

内　容　テーマ　「見守り活動について」
「ロードマップ」作成

【大東エリア】
日　時　令和 4 年 11 月 24 日（木）19:00～20:30
会　場　大東市民交流センター　会議室
参加者　大東エリア地域福祉代表
大東苑（講師）　など　合計 22 人
内　容　掛川市内の認知症対策の取り組みについて
実践紹介「認知症対応型デイサービス　なかよしの取り組みについて」
グループワーク「認知症対策について地域でできること」

【大須賀エリア】
日　時　令和 4 年 12 月 7 日（水）19:00～20:30
会　場　大須賀市民交流センター会議室
参加者　48 人（地区福祉協議会役員、一般、関係機関、講師、社協）
内　容　「精神保健福祉の基礎と理解」
講師　社会福祉法人 M ネット東遠 理事長 八木光春 氏
「相談窓口についての紹介」

③　先進地視察研修
サロン活動の普及推進を目的として、市外の先駆的活動者より実践報告をいただき、地区福祉協議会役員が参加した。また新型コロナ感染防止のため Zoom を利用し、市内 3 会場と自宅視聴により参加者を分散して開催した。
日　時　令和 4 年 10 月 24 日(月)10:00～11:30
会　場　総合福祉センター（配信元）
大東市民交流センター、中部ふくしあ
参加者　58 人（市内地区福祉協議会役員・社協職員）
内容･報告者　事例発表①
「寺’s の活動について」
事例提供者　袋井市寺前「寺’s」代表　中山亙　氏

事例発表②
「袋井南サポートセンターの活動について」
事例提供者　講師　袋井市南部地域包括支援センター　三品陽子氏

（7）　地域における家事支援の体制づくり
各ふくしあ CSW のうち 1 名が生活支援体制整備事業における第 2 層生活支援コーディネーターを兼務し、居場所活動・見守り活動・家事支援活動・移送支援活動等の支えあい活動の普及および推進の支援活動を行った。

①　生活支援コーディネーター打ち合わせ会の実施
掛川市長寿推進課に配置された第 1 層生活支援コーディネーターと連携し、市内の支えあい活動推進について検討するため、定期的に打ち合わせ会を実施した。（全 4 回）

また、今年度は認知症地域支援推進員とも連携強化のため打ち合わせを行った。（全４回）

日時：

令和４年	４月	11 日	（月）	１・２層打合せ	14:00～	市役所
				認知症地域支援推進員打合せ	14:40～	
令和４年	６月	15 日	（水）	１・２層打合せ	13:00～	教養会議室
令和４年	７月	26 日	（火）	認知症地域支援推進員打合せ	13:30～	Zoom
令和４年	９月	９日	（金）	１・２層打合せ	16:15～	大東市民交流ｾﾝﾀｰ
令和４年	10 月	25 日	（火）	認知症地域支援推進員打合せ	9:30～	Zoom
令和４年	12 月	26 日	（月）	１・２層打合せ	9:30～	教養会議室
令和５年	１月	24 日	（火）	認知症地域支援推進員打合せ	9:30～	Zoom

② 地域支えあい推進協議会への参画

掛川市全体の地域課題を把握し、支えあい体制づくりを推進するための第 1 層協議会としての「地域支えあい推進協議会」に参画し、第 2 層単位の状況を報告し地域課題について検討した。（全２回）

日時　第１回目　令和４年 10 月４日（火）　13:00～15:25　教養会議室
　　第２回目　令和５年２月 10 日（金）　13:30～15:25　教養会議室

（８） ふだんのくらしのしあわせ展の実施

市内 35 地区福祉協議会の活動を模造紙にまとめていただき、展示会を実施した。
大東図書館 11/23～12/1・大須賀図書館 12/14～12/21・中央図書館 2/4～2/12

（９） 認知症の人の見守り・支え合いネットワークの推進

Ｐ４６ （１） 小地域福祉ネットワーク活動の立ち上げ、活動支援に含め実施した。

＜３＞ 地域福祉活動支援の充実

（１） 福祉お助け用品貸し出しの実地

サロン活動等の地域活動を支援するためにレクリエーション等の用品貸し出しを実施した。各ふくしあでの貸出も実施している。

貸し出し利用件数

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	計
本　所	18	22	44	38	38	25	50	56	55	38	52	9	445
中　部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西　部	0	0	1	0	1	1	0	2	3	0	0	1	9
大　東	2	6	6	9	3	8	12	12	5	2	13	7	85
大須賀	2	8	8	6	5	12	7	22	3	8	2	2	85
合　計	22	36	59	53	47	46	69	92	66	48	67	19	624

３ 福祉を伝える啓発・情報提供活動

＜１＞ ふれあい交流活動

（１） 令和４年度掛川市ふれあい広場の開催

日　時　令和４年 10 月 16 日（日）10：00 開会式 14：00 閉会
会　場　掛川市障がい学習センター　全館（ホールを除く）
参加者　約 592 人

内　容　ふれあい体験　手話、点字、福祉車輌、AED などの体験

活動紹介・展示　ボランティア団体、福祉施設、地区福祉協議会などの紹介

共同募金　赤い羽根共同募金の協力

模擬店　障がい者(児)施設による自主製品、パン、野菜等の販売

ステージプログラム　催物広場中央でダンス等のパフォーマンスを披露

＜２＞　市民啓発活動

（１）　令和４年度掛川市社会福祉大会の開催

「誰もがすこやかに、安心で幸せな暮らしをともにつくるまち」の実現に向け、人と人の絆や助け合いの大切さを確認するとともに、多年にわたり社会福祉の発展に功労のあった人々に対し、心から感謝の意を表するために開催した。コロナ禍の感染拡大防止のため、今年は参加者を限定して実施した。

実施日　　令和５年２月 18 日（土）
会　場　　掛川市生涯学習センター大ホール
参加者　　91 人

被表彰者

区分	団体	個人	合計
社協会長表彰	４団体（社）	48 人	52
社協会長感謝状	10 団体(社･校)	１人	11
静岡県共同募金会感謝状伝達	８団体（社）	０人	8

＜３＞　情報提供活動

（１）　社協だよりの発行(毎月)

社協の機関誌として「社協だより」を発行し福祉情報を提供した。また、編集委員会を開催し、紙面の充実を図った。カラー印刷となり、より読みやすくなった。

発行回数　12 回（毎月 1 日発行）　　総発行数　490,183 部　　全戸配布

（２）　ボランティア情報の提供

毎月発行の社協だよりの中で講座・イベントの案内や、ボランティア募集等の情報提供を行った。またホームページを活用し、情報発信を行った。

（３）　介護者つうしん「ひといき」の発行

在宅介護者、各ふくしあ、各種事業（リフレッシュ旅行、茶のみやカフェ、笑顔のつどい）参加者等に配布し、活動報告や家族介護支援事業等の情報の提供を行った。

発行回数　年 2 回（10 月、12 月）　　発行部数　80 部

（４）　社協ホームページによる情報発信

各種事業・サービスの紹介やの福祉情報を発信した。

（５）インターネット活用による地区福祉協議会活動の情報提供

社協ホームページから各地域の福祉活動情報を発信した。また、地域助成や特別助成の申請書類をダウンロードできるようにした。

（６）　特技ボランティアリストの改定

福祉施設や地域のサロンなどで、自分の特技を活かして活動する特技ボランティアに関する最新の情報を提供するため、令和 4 年度版の作成を行った。また、新たな人材発掘のために地域へ呼びかけを行った。

令和 4 年度登録者数　39 人

（７）　サロン実践者への情報提供

新型コロナウイルス感染拡大防止のために、サロン活動が中止しているサロンがあり、各サロン実践者へ「孤立を防ぐ活動のための情報提供」として情報提供を行った。

情報提供期間：令和 4 年 5 月から令和 5 年 3 月／全 11 回

対　　象：掛川市内サロン代表者

４　福祉の心を育てる福祉教育活動

＜１＞　学校発の福祉教育の充実

（１）　福祉教育実践校事業の推進・活動支援(小･中・高 35 校)

平成 17 年度創設した「掛川市福祉教育実践校事業運営要綱」に基づき、小学校 22 校、中学校 9 校、高等学校 4 校　計 35 校（全校指定）を実践校として、学校の教育目標に沿った福祉教育活動を実践し、社協はその支援を行った。

◎各学校での活動状況

No.	区分	活　動　報　告
1	城北小学校	ベルマーク・古切手収集・アルミ缶・赤い羽根共同募金、挨拶運動、ペア活動、福祉調べ学習、ゲストを迎えての体験学習（高齢者、肢体不自由・視覚障がい・聴覚障がい）
2	第二小学校	福祉委員会活動（アルミ缶集め呼び掛け、赤い羽根共同募金呼び掛け）、福祉関係ポスター掲示、福祉についての調べ学習、身体に障がいをもつ方とのふれあい（車いす、介助の仕方）、視覚に障がいをもつ方とのふれあい（盲導犬との接し方）、聴覚に障がいをもつ方とのふれあい（手話体験）、お仕事発見セミナー（介護士による講話）、認知症サポーター養成講座、UD 講話（社会福祉協議会による講話）、自己テーマについてのまとめと提案発表、生活科や総合的な学習の時間での取り組み（1年生：園児（年長児）との交流、2年生：1年生との交流、5年生：視覚、聴覚、身体に障がいをもつ方とのふれあい）、道徳、学級活動での取り組み（感謝の気持ちを行動などで表す活動を学年ごと工夫した）、福祉教育実践校連絡会における情報交換、学年・学校便りや HP を利用した地域の方々への理解促進
3	東山口小学校	あいさつ運動、地域の方との交流、特別支援学級啓発授業、福祉に関する調べ学習（ユニバーサルデザイン、点字、手話、車いす）、古紙回収、赤い羽根共同募金 福祉のお仕事魅力発見講座、総合学習
4	桜木小学校	障がい者（聴覚・高齢者・視覚）との交流、赤い羽根共同募金
5	原田小学校	赤い羽根共同募金、書き損じハガキ収集、挨拶運動、視覚障がい者について調べ学習、地域の方との交流、特産品の栽培者の方との交流、こども園との交流、地区のお年寄りへの年賀状、
6	倉真小学校	学校だより、学級だより、ふれあい体育祭、総合学習（冀北発表会）、調べ学習、異学年交流、金次郎ボランティア、ゲストを迎えての体験学習（視覚障がい）、 赤い羽根共同募金
7	日坂小学校	あいさつ運動、調べ学習、学習発表会、シニアシミュレーターでの高齢者体験 高齢者との交流、異学年交流、赤い羽根共同募金
8	西山口小学校	防災学習（家庭内 DIG）、特別支援学校へ通う生徒との交流、読み聞かせ、赤い羽根共同募金、書き損じはがき、町探検（ふくしあの見学）
9	中央小学校	高齢者の抱える困難や生きがい、会場用具についての調べ学習・体験活動、学校や公共施設のバリアフリー設備についての調べ学習・発表、肢体不自由者との交流・車いす体験、募金活動（ユニセフ）、エコキャップ運動
10	曽我小学校	広報啓発活動（社協だより掲載）、目の不自由な方との交流、耳が不自由な方との交流、赤い羽根共同募金活動、収集活動（アルミ缶）
11	上内田小学校	アルミ缶回収、赤い羽根共同募金、視覚障がいの方との交流、肢体不自由の方との交流、校内清掃活動、花壇への水掛け
12	西郷小学校	募金活動、障がい者（聴覚・視覚・肢体）との交流、校内の UD 探し、租税教室
13	原谷小学校	あいさつ運動、赤い羽根共同募金、異学年との交流活動、聴覚・視覚障がい者との交流、地域の農家の方との交流、福祉の仕事学習、こども園との交流、書き損じはがき収集、中学生からの防災伝達講習会
14	和田岡小学校	ボッチャ体験、福祉教育に関する書籍の購入、障がい者（聴覚・視覚・肢体）との交流、赤い羽根共同募金
15	第一小学校	福祉総合学習（点字ブロック・音声信号機・福祉調べ学習・SDGs 調べ学習）、赤い羽根共同募金、収集活動、放送やポスターによる啓発

16	佐束 小学校	あいさつ運動、収集活動（アルミ缶、書き損じはがき)、4～6 年生福祉集会（肢体不自由者）はごろも「夢」講演会（パラリンピック選手の講話)、横さんちで買い物、赤い羽根共同募金
17	中 小学校	収集活動（エコキャップ)、幼稚園児・保育園児との交流、異学年交流、障がい者スポーツ体験（ボッチャ・ブラインドサッカー)、視覚障がい者の講話、赤い羽根共同募金
18	大坂 小学校	あいさつ運動、アルミ缶収集、・体験学習（凧あげ、野菜栽培（地域の方と交流)、老人ホームとの交流（収益金寄附・プレゼント)、視覚障がい者・聴覚障がい者の講話、赤い羽根共同募金、感謝の手紙送付（読み聞かせボランティア）6 年生と 1 年生の交流。
19	千浜 小学校	ボランティア募集配布、ポスター掲示、アイマスク体験、高齢者疑似体験、車椅子体験、高齢者や障がい者の災害時の避難についての調べ学習、赤い羽根共同募金、花壇作り
20	土方 小学校	ゲストとの交流（視覚・肢体不自由者)、赤い羽根共同募金、収集物（アルミ缶、古切手)、HP に活動紹介掲載、保幼小交流活動、資源回収
21	横須賀 小学校	アルミ缶・ペットボトル回収、体験活動（視覚障がい者、肢体不自由者、聴覚障がい者との交流)、書き損じはがきの回収
22	大渕 小学校	赤い羽根共同募金、アルミ缶回収、ユニバーサルデザイン出前講座、体験学習（視覚障がい者、肢体不自由者との交流)、連絡会への参加、異学年との交流
23	東 中学校	道徳教室（性的マイノリティ―)、クリーン作戦、赤い羽根共同募金 シリア・トルコ地震義援金への参加、ベルマーク回収運動
24	西 中学校	LGBTQ についての授業、掛川市ふれあい広場ボランティア、赤い羽根共同募金、書き損じはがきの回収、アルミ缶回収
25	栄川 中学校	福祉コーナーへの活動掲示、福祉に関する本の紹介コーナー設置、点字学習、道徳授業、御前崎海岸のゴミ拾い、幼稚園訪問・交流、収集活動（ベルマーク、書き損じはがき)、赤い羽根共同募金
26	桜が丘 中学校	人権意識の向上活動、花壇の整備、清掃ボランティア、こども園との交流、赤い羽根共同募金、
27	北 中学校	ベルマーク・赤い羽根募金の広報活動、バリアフリーデザイン・ユニバーサルデザイン調査、被災地への募金活動（トルコ地震)、福祉教育の情報交換
28	原野谷 中学校	校内掲示、収集活動（アルミ缶、古紙回収、書き損じハガキ)、被災地への募金活動（九州豪雨)、災害図上訓練、保育体験、地域防災訓練参加、資源回収活動、環境美化活動
29	城東 中学校	福祉学習発表会、福祉教育（福祉とは、高齢者理解、認知症サポーター養成講座、肢体不自由者、視覚、ユニバーサルデザイン)、福祉人権キャラクター考案、赤い羽根共同募金
30	大浜 中学校	ボランティア活動への呼びかけ、中学年チャレンジボランティアへの参加、ポスター掲示、ゲストによる福祉講話（パラリンピック選手)、募金活動（ウクライナ支援募金、台風 15 号静岡県義援金、赤い羽根募金)、書き損じはがき収集
31	大須賀 中学校	地域ボランティア募集、赤い羽根共同募金、清掃活動、ボッチャ体験学習、連絡会の参加

32	掛川東高校	福祉委員による収集物の呼び掛け（ベルマーク、古切手、ペットボトルキャップ回収)、赤い羽根共同募金、掲示板でのボランティア募集、生徒への啓蒙、1年生保育体験実習代替（手紙・折り紙プレゼント)、ボラティア部学童手伝い、保育園や地域でのボランティア活動参加、2年及び3年選択授業での保育実習、サマーショートボランティア、県・市主催のボランティア講座への参加（希望者）
33	掛川西高校	ボランティア活動啓蒙、ボランティア活動斡旋、生徒による小学生対象の出張授業（陸上教室、野球教室)、自然科学部による桶ヶ沼の保全活動、音楽部による介護施設へZoomコンサート
34	掛川工業高校	学校全体に対しての福祉・ボランティア活動周知、青年学級「この指とまれ」2月定例会（ギター部)、掛川児童交流館　交流館まつりボランティア、サンシティ掛川にてギター演奏披露、24時間テレビ 45「愛は地球を救う」街頭募金、赤い羽根共同募金、「空とぶ車いす」事業参加
35	横須賀高校	部活単位でのボランティア、保育体験実習、赤い羽根共同募金、FNSチャリティ募金、福祉委員会・地域活動部を通してボランティア活動の周知

（2）　福祉教育実践校連絡会の実施(2回)

「掛川市福祉教育実践校連絡会」を実施し、各学校における福祉教育の視点、推進上の課題について意見交換しあい、実践校活動の情報交換を行なった。

1回目

日　時　令和4年5月12日（木）15:00～16:30（Zoom開催）
会　場　掛川市総合福祉センター　教養会議室
参加者　市内小中高等学校福祉教育担当教諭34人、協力ゲスト7人、手話通訳3人、教育委員会1人、社協8人
内　容　掛川市社会福祉協議会事業とスマイルプランについて
福祉教育を通して子どもたちに伝えたいこと
講師　車いす友の会掛川支部　内藤　夏江氏
社協への依頼方法

2回目

日　時　令和5年 1月26日(木)15:00～16:30
会　場　掛川市総合福祉センター　教養会議室他（Zoom開催）
参加者　市内小中高等学校福祉教育担当教諭　33人、学校教育課1人、社協9人
内　容　事前アンケートの回答報告
グループワーク
掛川市福祉教育実践校事業助成金について

＜2＞　地域ぐるみの学びの場づくり

（1）　地域出前講座の実施

＜日坂地区＞

●高齢者料理教室

日　時　令和5年 2月5日(日)9:00～12:00
会　場　日坂地域生涯学習センター
参加者　15名

＜西南郷地区＞

●権利擁護について
日　時　令和４年７月 28 日（木）13:30～15:00
会　場　西南郷地域生涯学習センター　ホール
参加者　23 名

●福祉学習
日　時　令和４年８月４日(木) 13:30～15:00
会　場　西南郷地域生涯学習センター　ホール
参加者　22 名

＜南郷地区＞
●障がいについて
日　時　令和４年 ８月９日(火) 9:55～11:15
会　場　南郷地域生涯学習センター
参加者　19 名

＜和田岡地区＞
●介護保険、終活について
日　時　令和４年７月３日（日） 9:00～10:45
会　場　和田岡ふくし館
参加者　27 人

＜大渕地区＞
●認知症サポーター養成講座
日　時　令和４年７月 22 日（金）19:00～21:00
会　場　コミュニティセンターはまかぜ
参加者　45 人

（２）　市民地域福祉セミナーの実施

日　時　令和４年７月 20 日(水)10:00～11:35(Zoom 開催)
会　場　大須賀支所多目的室・桜木ホール・教養会議室・たまり～な
　　大東市民交流センター・参加者自宅
参加者　63 名
内　容　「ご近所パワーで助け合い起こし」
講　師　住民流地域福祉総合研究所　木原孝久氏

（３）　精神保健福祉出前講座の実施

精神保健福祉の地域への啓発を希望する地区がなかった為開催なし。

（４）　サマーショートボランティア講座への協力支援

サマーショートボランティアは、県ボランティア協会が中心となって、夏休みを利用して行うボランティア体験プログラムである。学生から一般まで、幅広い年齢層が参加でき、活動者は、県内の福祉施設で４日以上のボランティア活動を体験する。当会は共催として、募集・ＰＲ等で実施支援をしている。

（５）　小学生福祉ふれあい交流の実施

福祉体験を通じて、福祉・ボランティアの啓発を図った。

日　時　令和４年７月 29 日（金）9:30～11:30
会　場　西山口地域生涯学習センター（せんだん）
内　容　「シニアクラブとの交流」
　　シニアクラブ活動紹介、折り紙工作、じゃんけんゲーム、読み聞かせ
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

（６）　中学生・高校生福祉ふれあい交流の実施

福祉体験を通じて、福祉・ボランティアの啓発を図った。
日　時　令和４年８月８日（月）9:00～12:00
会　場　北中学校　体育館
内　容　講話・体験
　　「ペンタス概要説明・作業内容紹介」「パラスポーツを体験しよう」
参加者　きほくのもりペンタス　利用者 13 人、職員３人
　　北中学校福祉委員 15 人、職員１人、掛川市社協３人　計 35 人（予定）
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

（７）　高校生ボランティアの育成

青年学級で高校生ボランティアを受け入れた。
・この指とまれ：高校生 15 人
・四つ葉の会　：高校生 10 人

施策４　福祉基盤を強化する体制・組織づくり

１　福祉を進める体制を強化する事業

＜１＞　地域包括ケアシステムの充実

（１）　ＣＳＷ事業の推進（受託）

Ｐ59　（１）地域健康医療支援センターへの参画　（再掲）
Ｐ44　（１）　地区福祉協議会活動支援　（再掲）
Ｐ42　②　地区福祉協議会連絡会代表者・企画委員長合同会議の実施
　　（各エリア３回）　（再掲）
Ｐ49　（６）　小地域福祉ネットワーク活動の立ち上げ、活動支援　（再掲）
Ｐ59　（２）　福祉関係機関・専門機関との連携　（再掲）
Ｐ64　③　ＣＳＷ研修会の実施　（再掲）

（２）　生活支援事業の実施（受託）

Ｐ59　（１）地域健康医療支援センターへの参画　（再掲）
Ｐ30　（１）高齢者ふれあい・いきいきサロンの普及・推進支援　（再掲）
Ｐ54　（６）　特技ボランティアリストの改定　（再掲）
Ｐ44　（１）　地区福祉協議会活動支援　（再掲）
Ｐ49　②　小地域福祉ネットワーク活動研修会　（再掲）
Ｐ58　（２）　市民地域福祉セミナーの実施　（再掲）
Ｐ50　②　先進地視察研修　（再掲）
Ｐ51　（７）　地域における家事支援の体制づくり　（再掲）
Ｐ51　①　生活支援コーディネーター打ち合わせ会の実施　（再掲）

P51　② 地域支えあい推進協議会への参画　（再掲）
P59　（2）　福祉関係機関・専門機関との連携　（再掲）
P42　② 地区福祉協議会連絡会代表者・企画委員長合同会議の実施
（各エリア 3 回）　（再掲）

（3）　社会資源の発掘と活用

ふくしあＣＳＷが生活支援コーディネーターを兼務することをパンフレットにて周知し、地域ボランティアとして活動する気持ちのある人を募る取り組みを実施した。

35 地区福祉協議会の活動内容（実施事業）の一覧を作成し、地域福祉活動実践者が活用できるよう配布した。また、通いの場の情報収集を行い、活用できるようとりまとめた。

＜２＞　福祉関係機関との連携強化

（1）　地域健康医療支援センターへの参画

行政の進める地域健康医療支援センター（ふくしあ）へ、コミュニティソーシャルワーカーを配置し、他福祉機関と連携し、保健、福祉、医療、介護等の相談にワンストップで対応する体制を構築し地域福祉の推進を図った。

東部・中部・西部・南部大東・南部大須賀の各ふくしあへＣＳＷを 10 人配置

（2）　福祉関係機関・専門機関との連携

生活圏域ごとに、地域の高齢者の福祉ニーズを検討し、サービスの充足状況を把握し、新たな地域ケア体制の構築を図るため、地域包括支援センター等の主催する地域ケア会議・包括相談協力員懇話会・社会福祉士専門職会議に参画した。

地域ケア会議

開催日	地 区	内　　容
毎月 10 日前後	東部地区	東部エリアの地域課題について （招集／東部ふくしあ）

包括相談協力員懇話会

エリア	中部	東部	西部	大東	大須賀	合計
回数	9	9	8	6	4	36

③　令和 5 年民生員児童委員南部大東ふくしあ説明会
開催日　令和 5 年 2 月 6 日（月）14 日（火）13：30～15：30　10 日（金）9:30～11:30
会　場　市役所大東支所 4 階大会議室
参加者　23 人(6 日)　19 人（10 日）16 人（14 日）
内　容　新任民生委員へ向けて南部大東ふくしあの取り組み及び民生委員との関わりについての説明を実施した。

（3）　社会福祉法人との連携

支援における社会福祉法人との機関連携や地域活動への調整、法人のおこなう活動

への協力等、事業推進に当たり社会福祉法人との連携を図った。

（4） 社会福祉法人等社会貢献研究会の開催

社会福祉法改正に伴う社会福祉法人の社会貢献活動について、市内に本部や施設のある社会福祉法人とともに研究会を開催し、情報共有と共に様々な事業を実施した。

① 掛川市社会福祉法人等社会貢献研究会

【第1回】

開催日　令和4年11月29日（火）
参加者　9施設・法人
内　容　各法人の社会貢献活動に対する状況報告・情報交換
　　福祉なんでも相談の取組について報告
　　社協からの話題提供、共同事業提案他

② ﾌｰﾄﾞﾊﾟﾝﾄﾘｰ事業立ち上げの検討

R5年度の事業実施に向け、関係機関と検討会を実施した。

開催日　【第1回】令和4年12月23日(金)
　　【第2回】令和5年2月10日(金)
　　【第3回】令和5年3月15日(水)
参加者　6施設・6法人
内　容　事業の必要性の共有・状況報告・情報交換
　　実施方法の検討　他

＜3＞ 地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進

（1） 地域福祉計画と地域福祉活動計画の推進

令和3年度より、第四次計画がスタートし「地域福祉活動計画」の推進を図るために、地域への普及啓発と共に、行政との調整や、実践者である各地区福祉協議会、まちづくり協議会と専門職への評価アンケートを行った。

（2） 地域福祉計画・活動計画推進委員会の開催

地域福祉計画地域福祉活動計画推進等委員会を行政と合同で設置開催した。

① 計画推進等委員会

日　時　令和5年1月13日（金）14：00～15：35
会　場　掛川市役所5階　全員協議会室
出　席　26名（推進委員・アドバイザー・事務局）
　　アドバイザー：静岡福祉大学増田樹郎教授
内　容　評価アンケート結果報告、意見交換

② 事務局会議

福祉課・社会福祉協議会・アドバイザー（静岡福祉大学増田樹郎教授）等で構成し、4回開催（8/9・9/22・12/23・1/11）

③各地区計画説明

地区福祉協議会、まちづくり協議会などへ第四次計画について説明を行った。

（3） 地域福祉活動計画の評価・見直し

計画策定等委員会の開催や評価方法について、福祉課・地区福祉協議会連絡会・社会福祉協議会にて協議検討を行った。

2　社会福祉協議会の運営と組織強化

＜1＞社会福祉協議会の運営

（1）　四役会・理事会・評議員会の開催

①　四役会　　12 回開催

毎月初旬に開催し、事業報告及び予定の確認等を行い、当面する課題等についての取り組みを協議し、充実した活動につなげた。

②　理事会　　3 回開催

回	年　月　日	出席者	議　　題
1	令和 4 年 6 月 3 日	10 人	（協議事項） 議案第 1 号　社会福祉法人掛川市社会福祉協議会評議員候補者の推薦(案)について 議案第 2 号　社会福祉法人掛川市社会福祉協議会理事候補者の推薦(案)について 議案第 3 号　令和 3 年度社会福祉法人掛川市社会福祉協議会事業報告について 議案第 4 号　令和 3 年度社会福祉法人掛川市社会福祉協議会社会福祉事業資金収支決算について 議案第 5 号　社会福祉法人掛川市社会福祉協議会社会福祉充実計画の策定について 議案第 6 号　令和 4 年度社会福祉法人掛川市社会福祉協議会社会福祉事業第一次資金収支補正予算について 議案第 7 号　令和 4 年度第 1 回社会福祉法人掛川市社会福祉協議会評議員会の招集について （報告事項） 報告第 1 号　会長及び常務理事における職務執行状況の報告について
2	令和 4 年 12 月 9 日	12 人	（協議事項） 議案第 8 号　令和 4 年度社会福祉法人掛川市社会福祉協議会社会福祉事業第二次資金収支補正予算について 議案第 9 号　社会福祉法人掛川市社会福祉協議会評議員候補者の推薦（案）について 議案第 10 号　社会福祉法人掛川市社会福祉協議会監事候補者の推薦（案）について 議案第 11 号　社会福祉法人掛川市社会福祉協議議会評議員選任等委員会委員の選任について 議案第 12 号　令和 4 年度第 2 回社会福祉法人掛川市社会福祉協議会評議員会の招集について （報告事項） 報告第 2 号　令和 4 年度現年監査の結果について 報告第 3 号　会長及び常務理事における職務執行状況の報告について

3	令和5年3月20日	10人	（協議事項） 議案第13号　令和4年度社会福祉法人掛川市社会福祉協議会社会福祉事業第三次資金収支補正予算について 議案第14号　令和5年度社会福祉法人掛川市社会福祉協議会事業計画について 議案第15号　令和5年度社会福祉法人掛川市社会福祉協議会社会福祉事業資金収支予算について 議案第 16 号　社会福祉法人掛川市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について 議案第 17 号　社会福祉法人掛川市社会福祉協議会決裁規程の一部改正について 議案第 18 号　社会福祉法人掛川市社会福祉協議会処務規程の一部改正について 議案第 19 号　社会福祉法人掛川市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について 議案第20号　社会福祉法人掛川市社会福祉協議会育児・介護等に関する規程の一部改正について 議案第 21 号　社会福祉法人掛川市社会福祉協議会非常勤職員就業規程の一部改正について 議案第22号　役員等賠償責任保険の契約について 議案第23号　令和4年度第3回社会福祉法人掛川市社会福祉協議会評議員会の招集について （報告事項） 報告第 4 号　社会福祉法人掛川市社会福祉協議会職員就業規程の一部改正の専決について 報告第 5 号　社会福祉法人掛川市社会福祉協議会非常勤職員就業規程の一部改正の専決について

③　評議員会　　3回開催

回	年　月　日	出席者	議　　題
1	令和4年6月22日	28人	（協議事項） 議案第 1 号　社会福祉法人掛川市社会福祉協議会理事の選任（案）について 議案第 2 号　令和 3 年度社会福祉法人掛川市社会福祉協議会事業報告について 議案第 3 号　令和 3 年度社会福祉法人掛川市社会福祉協議会社会福祉事業資金収支決算について 議案第 4 号　令和 4 年度社会福祉法人掛川市社会福祉協議会社会福祉充実計画の策定について 議案第 5 号　令和 4 年度社会福祉法人掛川市社会福祉協議会社会福祉事業第一次資金収支補正予算について （報告事項） 報告第 1 号　社会福祉法人掛川市社会福祉協議会評議員の確定について
2	令和4年12月22日	31人	（協議事項） 議案第 6 号　令和 4 年度社会福祉法人掛川市社会福祉協議会社会福祉事業第二次資金収支補正予算につ

3	令和5年3月29日	32人	いて 議案第7号　社会福祉法人掛川市社会福祉協議会監事の選任について （報告事項） 報告第2号　令和3年度現年監査の結果について 報告第3号　社会福祉法人掛川市社会福祉協議会評議員の確定について （協議事項） 議案第8号　令和4年度社会福祉法人掛川市社会福祉協議会社会福祉事業第三次資金収支補正予算について 議案第9号　令和5年度社会福祉法人掛川市社会福祉協議会事業計画について 議案第10号　令和5年度社会福祉法人掛川市社会福祉協議会社会福祉事業資金収支予算について

（2）研修会の実施

①　役職員研修会の実施

開催日　令和4年12月22日（木）※第2回評議員会開催前
会　場　徳育保健センター　徳育ホール
参加者　理事9人・監事1人・評議員29人・職員8人　合計47人
内　容　①　講義「ひきこもり者にやさしいまちづくりをめざして」
　　講師　NPO法人サンフォレスト代表　三森重則氏
　②　当事者からの講話　　濱村隼也氏
　③　ひきこもり者居場所事業「Ｍｙラボ」説明　　職員

②　職員研修会の実施

（新任職員研修）

採用された新規職員に対し、社協職員としての自覚を育て、業務執行能力を高めるために採用時に研修会を実施した。

日　時　採用時随時実施
内　容　①社協概論、②組織規則、③規程、④危機管理
対象者　令和4年度新規採用職員

（小集団活動）

職員の資質向上を図るための研修として、29年度から小集団活動を実施ししている。

開催日：毎月1回、小集団（5グループ）ごとに開催日を設定して実施
内　容：グループごとに、職員の資質向上や組織の改善につながるテーマを自由に設定して討議する
対象者：正規職員全員

（キャリア形成サポート事業）

職員の資質向上及びキャリア形成を目的に、厚生労働省モデル事業を活用して研修を行った。

実施日　①集合研修：令和4年8月18日（木）
　②個別キャリア面談：8月23日（火）～9月13日（火）

対象者　職員 27 人

（リーダー研修）

リーダー層の人材育成のため対象者の研修を行った。

（１）行政研修への参加

①西部四市管理者合同研修

実施日　令和 4 年 7 月 19 日（火）・20 日（水）

会　場　袋井市役所

参加者　2 名

②西部四市監督者合同研修

実施日　A 日程：令和 4 年 6 月 28 日（火）・29 日（水）

B 日程：令和 4 年 6 月 30 日（木）・7 月 1 日（金）

会　場　掛川市役所

参加者　A・B 各 2 名（合計 4 名）

（２）キャリアコンサルタントによる研修

①　実施日　令和 4 年 12 月 16 日（金）

参加者　5 名

②　実施日　令和 5 年 3 月 28 日（火）

参加者　4 名

③　ＣＳＷ研修会の実施

ＣＳＷ職員を中心に、事例検討を中心とした資質向上のための研修会を集合型、Zoom で実施した。第 2 回からは各ふくしあ入所団体にも声掛けを行い、参加者を募った。

講　師　日本社会事業大学　社会福祉学部准教授　菱沼幹男　氏

1 回目	令和 4 年	6 月	17 日	（金）	9：00～17：00	17 人参加
2 回目	令和 4 年	9 月	9 日	（金）	9：30～14：00	28 人参加
3 回目	令和 5 年	2 月	7 日	（火）	13：00～17：15	34 人参加

（３）　グループウェアの導入

「サイボウズオフィス」を導入し、職員のスケジュールや会議室・福祉車両の貸し出しを一元的に管理できるシステムを構築した。

（４）　会費の充実（一般会費・賛助会費）

①　一般会費の充実

区長会に依頼し、区でとりまとめいただき、振込用紙で各金融機関から振込みをしていただくようお願いしている。一世帯あたり 500 円のうち、300 円分は社会福祉事業に、200 円分については、地域に還元し、地域福祉の推進と充実に充てられている。

1 世帯　500 円　　世帯数　46，485 世帯　（令和 4 年 4 月 30 日現在）

合計額　15,903,650 円(納入世帯数　31,807 世帯)　68.4%

②　施設・団体会員の拡充

社会福祉法第 109 条を基に、福祉施設・団体等に会員加入をお願いした。

1 口 2,000 円　　26 件　　175,000 円

③　賛助会員の拡充

民生委員児童委員のご協力のもと、当会の趣旨に賛同いただいた方に賛助会員とし

て加入をお願いした。
1口1,000円以上　　企業・団体・個人　808件　　2,062,230円

＜２＞　社会福祉協議会の組織強化

（１）　経営強化方針の策定

経営強化に向けての方針作成を検討している。

（２）　組織体制の見直し

機構改革を行い、令和5年4月より課を新設し体制強化を図った。

（３）　事務事業のＰＤＣＡサイクル導入

事業の効率運営のため、事務事業の評価見直しをおこなった。

（４）　職員研修体制の確立

職員の継続的研修体制を確立するため、令和5年度からコンサルタントと契約し研修体系の確立を図っていく。

（５）　安定的な業務運営のための職員確保と維持の方針検討

令和4年度の年度当初及び年度途中に正規職員・嘱託職員を採用し事業の安定化を図った。

（６）　安定した自主財源の確保策の検討

組織の基盤強化を図るため、自主財源の確保に向けて社協だよりやホームページ等で呼びかけをした。

３　共同募金運動の推進

＜１＞　共同募金運動への協力

（１）　静岡県共同募金会掛川市共同募金委員会運営委員会の開催

第1回　令和4年6月　3日(金) 理事会終了後
第2回　令和5年3月 20日(月) 理事会終了後

（２）　共同募金（一般募金）への協力

令和4年度目標額	11,200,000円
令和4年度一般募金実績額	11,267,506円（目標額の100.6%）

（３）　歳末たすけあい募金への協力

令和4年度目標額	8,000,000円
令和4年度歳末たすけあい募金実績額	7,931,542円（目標額の99.1%）

（４）　災害義援金への協力

静岡県共同募金会を通じて、要請のある被災地域からの災害義援金募集に対応した。

＜２＞　共同募金助成事業の実施

（１）　助成金による地域福祉事業の充実

令和３年度共同募金助成金、令和４年度歳末たすけあい剰余金が一般募金助成金として社会福祉協議会に助成され、福祉事業の充実のために活用した。

◎助成金の明細　　（単位：円）

令和３年度共同募金 （地域福祉活動）助成金	令和４年度歳末たすけあい募金 剰余金による地域福祉活動助成金	助成金合計金額
6,536,186 円	2,186,055 円	8,722,241 円

◎一般募金助成金事業一覧　　（単位：円）

区　　分	事　業　名	金　額
障害児･者福祉活動費	青年学級	137,486
	精神障がい者サロン	252,055
	おもちゃ図書館	46,228
小　　計	3件	435,769
児童・青少年福祉活動費	福祉教育実践校事業	1,826,098
小　　計	1件	1,826,098
福祉育成・援助活動費	福祉お助け用品貸出事業	320,037
	地区福祉協議会活動助成金交付事業	8,489,600
	赤い羽根地域福祉促進助成事業	243,000
	地域出前講座	11,137
小　　計	4件	9,063,774
ボランティア活動育成事業費	ボランティア養成講座	19,071
	災害ボランティアセンター運営	893,196
	災害ボランティア事業整備	295,811
小　　計	3件	1,208,078
合　　計	11件	12,533,719

※事業費は、共同募金助成額　8,722,241 円、共同募金災害等準備金 893,196 円、参加者負担金・雑収入・法人運営事業サービス区分繰入金収入等 2,918,282 円を含む総事業費。

（２）　赤い羽根地域福祉促進助成事業の実施（新規）

赤い羽根共同募金の助成金を活用し、掛川市の地域福祉向上のために継続的に取り組んでいる団体が行う新規事業に対し助成を行った。

今年度においては、地区福祉協議会や高齢者サロンに対して車イスの購入やレクリエーション用具の購入費等を助成した。

令和４年度　　決定　４ 件　　243,000 円（１件辞退）
　　申請　５ 件　　280,000 円

＜３＞　歳末たすけあい助成事業の実施

市民のみなさまからご協力いただいた歳末たすけあい募金を掛川市内の生活にお困りで見舞金の必要な世帯や福祉団体・ボランティア団体等が行う福祉事業に対して助成した。

（1）歳末たすけあい見舞金助成事業の実施

① 令和 4 年度助成状況

歳末たすけあい募金実績額		7,931,542 円
助成実績額		5,367,900 円
（助成内訳）	見舞金の助成	3,807,000 円
	福祉事業への助成	1,560,900 円

※ 募金実績額と助成実績額の差額 2,563,642 円は、令和 5 年度に掛川市共同募金委員会事務費及び地域福祉事業費として助成されます。

② 援助・支援対象（世帯）把握

歳末たすけあい見舞金助成対象者の基準として「経済的理由で助言指導を必要とする子育て、高齢者、障がい者世帯（住民税非課税世帯）、その他の世帯などで生活困窮と認められる世帯」として、その把握を行った。

把握の方法

・社協だよりによる広報　・昨年度の給付者への確認
・生活困窮者自立支援事業のケース内での把握
・災害被災者の把握

③ 助成の決定のための審査会の実施

各地区民生委員児童委員協議会会長 7 人、社協会長、共同募金委員会会長及び事務局長で審査会を開催し、見舞金贈呈事業の助成世帯及び助成金額および歳末福祉事業への助成金額を決定した。

令和 4 年 11 月 29 日（火）　9:00～10：25

④ 見舞金贈呈事業の実施

申請のあった歳末たすけあい見舞金助成対象者に見舞金を贈呈した。

（ 歳末たすけあい見舞金の計算方法）

申請者 23,000 円/人に加え、申請者以外で対象となる家族に一人当たり 1,000 円を加算する。

見舞金助成状況　　世帯数　　（　）内は人数

地区 民児協	子育て 世帯	高齢者 世　帯	障がい児 者世帯	その他	合　　計	助　　成 合　計　額 （円）
第１地区	5 (20)	7 (8)	2 (2)	3 (5)	17 (35)	402,000
第２地区	2 (6)	9 (11)	1 (1)	0 (0)	12 (18)	280,000
第３地区	2 (8)	5 (5)	5 (11)	2 (4)	14 (28)	331,000
第４地区	5 (15)	17 (18)	4 (11)	7 (16)	33 (60)	1,005,000
第５地区	3 (14)	9 (11)	3 (3)	4 (6)	19 (34)	525,000
第６地区	3 (8)	24 (24)	9 (20)	3 (5)	39 (57)	910,000
第７地区	3 (11)	6 (6)	5 (11)	1 (3)	15 (31)	354,000
合　　計	23 (82)	77 (83)	29 (59)	20 (39)	149 (263)	3,807,000

（２）　歳末たすけあい福祉事業助成事業の実施

地区福祉協議会、福祉団体、ボランティア団体等が年末年始（12 月から１月まで）に行う、住民参加による福祉事業に対して申請を受付けて助成した。

福祉事業への助成状況

事　業　種　別	件　数	金額（円）
高 齢 者 事 業	51	982,000
障がい児・者事業	13	391,900
児童・青少年事業	11	187,000
合　　計	75	1,560,900

令和４年度

事業報告の附属明細書

令和４年度の事業報告に関して、定款第 38 条第 1 項第 2 号に規定する事業報告の附属明細書について、（※）記載する事項はありません。

（※）記載する事項・・・社会福祉法施行規則第 2 条の 25 第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」